



スキャンコンバータ

VSC-01

取扱説明書 Ver.1.7.1

この度は、スキャンコンバータ「VSC-01」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
「VSC-01」は低価格ながら高い品質を持っています。本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

保証について

本製品が万一故障した場合は、購入日から5年間無料修理を致します。
但し、保証期間内でも次の場合には有償で修理させていただきます。

1. 火災、天災、異常電圧などによる故障、損傷
2. 不当な修理、調整、改造された場合
3. 取り扱いが不適当なために生じる故障、損傷
4. 故障が本装置以外の原因による場合

保守部品の保有期間

製造中止製品につきましては、7年間保守部品を常備いたします。
但し、不測の事態により保守部品の在庫が無くなった場合、修理が行えないケースがございますので、あらかじめご了承下さい。

安全に正しくお使いいただくために

安全に使用していただく為に、重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読み下さい。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します
---	---

 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します
---	--

絵表示の例

	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。 右図の場合は「感電注意」⇒	
	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。 右図の場合は「分解禁止」⇒	
	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。 右図の場合は「電源プラグを抜く」⇒	



警告

□異常状態の(煙が出ている、異音・異臭がする)ときは電源プラグを抜く-----



煙がでていたり変な臭いや音がするなどの異常状態で使用を続けると、漏電や火災の原因になります。すぐに使用中止し、機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、当社営業部に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

□ふたは絶対に開けない-----



この機器のふたははずさないでください。感電の原因になります。

この機器を分解、修理・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は当社営業部に依頼ください。

□指定以外の電源電圧で使用しない-----



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。

火災・感電の原因となります。

□指定以外のヒューズは使用しない-----



表示されたヒューズ以外のものは使用しないで下さい。

火災・感電の原因となります。

□機器内部に物や水を入れない-----



この機器の開口部(通風孔など)から金属類や可燃物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。

万一異物が機器内部に入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部に連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。

万一機器内部に水などの液体が入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部に連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。



電源コードが破損するようなことはしない-----

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本体の下敷きになったりしないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)、当社営業部に交換をご依頼ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

 不安定な場所に置かない-----

本体を不安定な台の上や傾いた場所などに置くと、転倒・落下して怪我をする恐れがあります。また、故障の原因となります。

 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない-----

感電の原因となる恐れがあります。

 電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む-----

異常発生時、直ちに電源プラグをコンセントから抜けるよう留意してください。

 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む-----

ショートや発熱により、感電、漏電、火災の原因となります。
また、たこ足配線はしないで下さい。

 **注意**

□湿気や埃の少ない場所、直射日光の当たらない場所に置く-----



湿気や埃の多い場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

□通風孔をふさがない-----



この機器の通風孔をふさがないで下さい。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

□お手入れの時は電源プラグを抜く。抜くときは必ずプラグを持って抜く-----



お手入れの際は安全の為に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
また電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



□この機器の上に重い物を置かない-----



重い物や、本体からはみ出るような大きな物を上に置くと不安定になり、倒れたり落ちたりして怪我の原因となることがあります。

□長時間使用しない時は電源プラグを抜く-----



電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因になることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない-----

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になることがあります。

定期的に電源プラグのチェックを行う-----

長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、その間に埃やゴミが溜まってきます。さらに空気中の水分などを吸収すると、電気がながれやすくなるため(トラッキング現象)、プラグやコンセントが炭化し、時には発火の原因になることがあります。事故を防ぐ為、定期的に電源プラグがしっかりささっているか、埃が溜まっていないかなどを点検してください。

本体付属の専用 AC アダプタまたは、電源コード以外のものは使わない-----

付属のもの以外をご使用になられますと、不適合により火災や感電の原因になることがあります。

*標準付属品の AC 電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、弊社までご相談ください。

使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る-----

使用の際は使用温度/湿度範囲、保存の場合は保存温度/湿度範囲を守ってください。範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になることがあります。

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る-----

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従ってください。電源を切らずに接続を行うと、火災や感電の原因になることがあります。

目次

1. 概要	11
2. 特長	11
3. 主な機能	12
4. フロントパネルの説明	13
5. リアパネルの説明	14
6. 操作方法	16
6-1. キーロック設定/解除の選択操作	16
6-2. 各種メニューの表示操作	16
6-2-1. プリセットメモリの呼出/登録	18
6-2-2. NTSC 入力ソース (OFF/VBS/YC/D1/内蔵パターン) 選択	18
6-2-3. RGB コンバート出力画像調整 (VGA ~ SXGA+, サイズ、ポジション、内蔵テストパターン)	19
6-2-4. RGB 入力画像調整 (サイズ、ポジション、フェーズ調整、クロック調整)	22
6-2-5. NTSC 入力画像調整 (サイズ)	23
6-2-6. コントラスト調整	24
6-2-7. ブライツ調整	24
6-2-8. インテンシティ (輝度) 調整	25
6-2-9. サチュレーション (彩度) 調整	25
6-2-10. ガンマ補正	25
6-2-11. 入力/出力フィルター調整	26
6-2-12. HUE 調整	26
6-2-13. 台形補正	26
6-2-14. その他設定 (ラストメモリ ON/OFF、ブザー ON/OFF、外部同期 ON/OFF、RS-232C デジ エイン ID 設定、フェードアウト・イン、ブルーバック)	27
6-2-15. 外部コントロールメモリ実行	28
6-2-16. 外部コントロールメモリ作成・編集	29
6-2-17. マルチ画面設定	30
6-2-18. ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ・ポジションの調整	32
7. 通信制御コマンド	33
7-1. 通信フォーマット	33
7-2. コネクタ、ケーブル仕様	33
7-3. 制御コマンドフォーマット	34
7-4. 返り値	34
7-5. コマンド一覧	35
7-6. コマンド詳細	38
7-6-1. @IOS (Input/Output Select)	38
7-6-2. @SPI (Set Picture In Picture)	39
7-6-3. @GPI (Get Picture In Picture)	40
7-6-4. @SNS (Set NTSC Source)	41
7-6-5. @GNS (Get NTSC Source)	42
7-6-6. @SPM (Store Preset Memory)	43
7-6-7. @RPM (Recall Preset Memory)	43
7-6-8. @SSC (Set Scanconvert Clock)	44
7-6-9. @GSC (Get Scanconvert Clock)	45
7-6-10. @SSH (Set Scanconvert Sampling Phase)	46
7-6-11. @GSH (Get Scanconvert Sampling Phase)	47
7-6-12. @SSS (Set Scanconvert Size)	48

7-6-13.	@GSS (Get Scanconvert Size)	49
7-6-14.	@SSP (Set Scanconvert Position)	50
7-6-15.	@GSP (Get Scanconvert Position)	51
7-6-16.	@SIM (Set Input Mode)	52
7-6-17.	@GIM (Get Input Mode)	53
7-6-18.	@SCF (Set Color Format)	54
7-6-19.	@GCF (Get Color Format)	55
7-6-20.	@SOT (Set Output Timing)	56
7-6-21.	@GOT (Get Output Timing)	57
7-6-22.	@SAP (Set Aspect)	58
7-6-23.	@GAP (Get Aspect)	59
7-6-24.	@SMS (Set Mask Size)	60
7-6-25.	@GMS (Get Mask Size)	61
7-6-26.	@SOP (Set Output Position)	62
7-6-27.	@GOP (Get Output Position)	63
7-6-28.	@SOS (Set Output Size)	64
7-6-29.	@GOS (Get Output Size)	65
7-6-30.	@SFL (Set Filter)	66
7-6-31.	@GFL (Get Filter)	67
7-6-32.	@SKY (Set Keystone)	68
7-6-33.	@GKY (Get Keystone)	69
7-6-34.	@STP (Set Test Pattern)	70
7-6-35.	@GTP (Get Test Pattern)	71
7-6-36.	@SBR (Set Bright)	72
7-6-37.	@GBR (Get Bright)	73
7-6-38.	@SCO (Set Contrast)	74
7-6-39.	@GCO (Get Contrast)	75
7-6-40.	@SIT (Set Intensity)	76
7-6-41.	@GIT (Get Intensity)	77
7-6-42.	@SST (Set Saturation)	78
7-6-43.	@GST (Get Saturation)	79
7-6-44.	@SGM (Set Gamma)	80
7-6-45.	@GGM (Get Gamma)	81
7-6-46.	@SHU (Set HUE)	82
7-6-47.	@GHU (Get HUE)	83
7-6-48.	@SPP (Set Picture In Picture Position)	84
7-6-49.	@GPP (Get Picture In Picture Position)	85
7-6-50.	@SPS (Set Picture In Picture Size)	86
7-6-51.	@GPS (Get Picture In Picture Size)	87
7-6-52.	@SMD (Set Multi Display)	88
7-6-53.	@GMD (Get Multi Display)	89
7-6-54.	@SDS (Set Multi Display Size)	90
7-6-55.	@GDS (Get Multi Display Size)	91
7-6-56.	@SDP (Set Multi Display Position)	92
7-6-57.	@GDP (Get Multi Display Position)	93
7-6-58.	@GIV (Get ID & Version)	94
7-6-59.	@SEC (Set External Command)	95
7-6-60.	@GEC (Get External Command)	97
7-6-61.	@EXC (Execute External Command)	99

7-6-62. @SFP (Set Font Parameter)	100
7-6-63. @GFP (Get Font Parameter)	101
7-6-64. @SFD (Set Font Data)	102
7-6-65. @GFD (Get Font Data)	103
7-6-66. @DIY (Daisy Chain)	104
8. 製品仕様	109
9. 故障かな?と思う前に	110

1. 概要

VSC-01 は入力に NTSC3 系統(VBS・Y/C・Y/Cb/Cr)、RGB1 系統、RGB 出力にアナログ 1 系統、デジタル 1 系統を装備したスキャンコンバータです。

RGB 入力の解像度は VGA ~ UXGA、またはアナログ YPbPr 色差信号(D1 ~ D5)で自動認識され、最適な値に設定されます。

RGB 出力の解像度は VGA ~ SXGA+で選択でき、NTSC 入力の映像を RGB 画像上(またはその逆)にウィンドウ表示するピクチャ・イン・ピクチャ(PIP)機能の搭載しています。さらに、アナログ出力に加え、デジタル出力(DVI 端子)も装備しているので、2 系統の出力を同時に使用できます。

RGB 入力の 1 系統にはループスルー出力があり電源をオフにした状態でもスルー画像を出力することができます。

画像調整機能にはブライトネス、コントラスト、台形補正等の豊富なメニューを持ち、フロント表示管とキー操作により簡単に調整ができます。

外部制御用通信ポートとして RS-232C を 2 チャンネル装備していますので、各種調整値の設定を遠隔操作することができます。また、RS-232C でデイジーチェーンすれば VSC-01 を複数台(最大で 99 台)接続し一括制御することが可能です。

外部コントロールメモリを使用すれば、VSC-01 の RS-232C からプロジェクトの電源 ON/OFF 管理や周辺機器の外部制御が可能です。(外部コントロールメモリは最大 9 種類登録可能です)

2. 特長

- ・RGB 出力解像度 SXGA+(1400x1050 60Hz)までのスキャンコンバート機能
- ・RGB 入力解像度 UXGA、またはハイビジョン入力 D5 まで対応
- ・NTSC 入力 3 系統(VBS・Y/C・Y/Cb/Cr)
- ・ピクチャ・イン・ピクチャ機能
- ・出力画像にテストパターンや文字を重ね合わせて表示可能
- ・ブライトネス、コントラスト、台形補正等、豊富な調整機能
- ・状態記憶プリセットメモリ最大 4 メモリ
- ・RS-232C で外部機器を制御可能
- ・マルチ画面拡大表示(2 面 ~ 9 面)を標準でサポート
- ・RS-232C デイジーチェーン接続で複数台の VSC-01 を一括制御可能

3. 主な機能

機能	説明ページ
プリセットメモリ(設定状態記憶メモリ)最大4メモリの登録 / 呼出	18
NTSC 入力ソース VBS / YC / D1 / 内蔵カラーパターン の選択	18
RGB スキャンコンバート出力 VGA / SVGA / XGA / WXGA / QVGA / SXGA / SXGA+ の選択	19
内蔵テストパターン 1ドットおき縦縞 / クロスハッチ / ラスター の選択	19
タイトルテロップ / ビットマップロゴ の表示	19
RGB 入力画像サンプリングフェーズ、クロック数 の調整	22
コントラスト、ブライトネス の調整	24
インテンシティ、サチュレーション の調整	25
HUE の調整、台形補正	26,26
ラストメモリ(最後の設定状態記憶メモリ) ON/OFF の選択	27
外部同期信号入力 ON/OFF の選択	27
2~9面マルチ画面 の設定	30
ピクチャ・イン・ピクチャ 子画面表示位置、サイズ の調整	32
外部コントロールメモリ(RS-232C で周辺機器を制御)最大9メモリの登録 / 呼出	28
RS-232C からの外部通信制御	33
RS-232C デジーチェーン接続	33,104

RGB 入力のスキャンコンバートについて

RGB 入力画像の検出モードは AUTO DETECT、FIXED の 2 種類があり、メニューで選択できます。 22 ページ **AUTO DETECT** は RGB 入力画像を常に監視し、入力の変化を自動的に検出するモードです。

入力画像の変化を検出するとその入力画像に適切な画像位置、サイズで表示します。

FIXED は現在の RGB 入力画像を固定とし、入力の変化を検出しません。

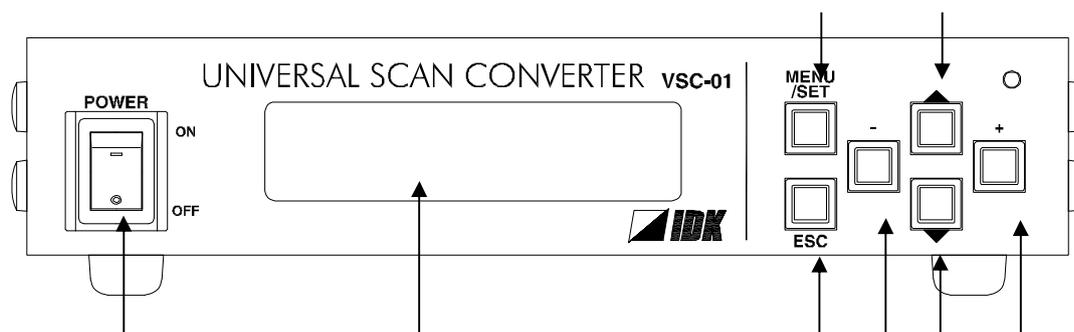
このモードで入力画像が変化した場合は画像が乱れて表示されます。

RGB 入力画像を検出すると、自動的にその入力画像情報を内部メモリに記憶します。

一度検出したことのある入力画像をのちに再び検出した場合は、内部メモリからその入力画像情報を呼び出して画像位置、サイズを設定します。

内部メモリに記憶できる入力画像情報は最大 59 種類までです。

4. フロントパネルの説明



電源スイッチ (POWER)

機器本体の電源を 入/切 します。

蛍光表示管

各種メニューを表示します。

メニュー表示/決定キー (MENU/SET) 16 ページ

各種メニューを蛍光表示管に表示します、又メニュー決定の時に使用します。

キャンセルキー (ESC)

各種メニューの設定を終了します。

又、約 2 秒間押し続けることによりキー操作ロック/解除を選択します。

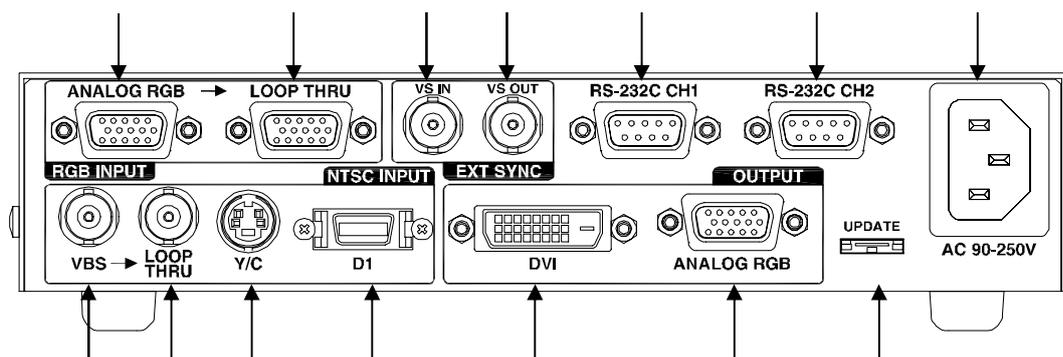
数値設定キー(-, +)

各種メニュー設定時の数値変更をします。

メニューページ切替キー (,) 16 ページ

各種メニュー設定時のカーソル移動、ページ切り換えをします。

5. リアパネルの説明



RGB 映像入力コネクタ (ANALOG RGB)

RGB アナログビデオ信号を入力します。

RGB 映像ループスルーコネクタ (LOOP THRU)

の映像をスルー出力します、VSC-01 の電源を切っても出力されます。

外部同期入力コネクタ (VS IN)

外部同期機能を使用する時に外部機器からの V SYNC 信号 (TTL レベル・負極性) を入力します。

外部同期ループスルーコネクタ (VS OUT)

の外部同期をスルー出力します。

RS-232C コネクタ (RS-232C CH1)

通信コマンドによる外部制御を行う場合に使用します。

デジチェーンする場合、他の VSC-01 の RS-232C CH2 とクロスケーブルで接続します。

RS-232C コネクタ (RS-232C CH2)

通信コマンドによる外部制御を行う場合に使用します。

デジチェーンする場合、他の VSC-01 の RS-232C CH1 とクロスケーブルで接続します。

通信コマンドによる外部制御を行う場合、RS-232C CH1 と CH2 の同時使用も可能です。

電源コネクタ

AC90 ~ 250V。

NTSC 映像入力コネクタ (VBS)

NTSC コンポジットビデオ信号を入力します。

NTSC 映像ループスルーコネクタ (LOOP THRU)

の映像をスルー出力します、VSC-01 の電源を切っても出力されます。

NTSC 映像入力コネクタ (Y/C)

NTSC 色差ビデオ信号を入力します。

NTSC 映像入力コネクタ (D1)

NTSC コンポーネントビデオ信号 (Y/Cb/Cr) を入力します。

RGB デジタル映像出力コネクタ (DVI)

スキャンコンバートされた映像を出力します。

RGB アナログ映像出力コネクタ (ANALOG RGB)

スキャンコンバートされた映像を出力します。

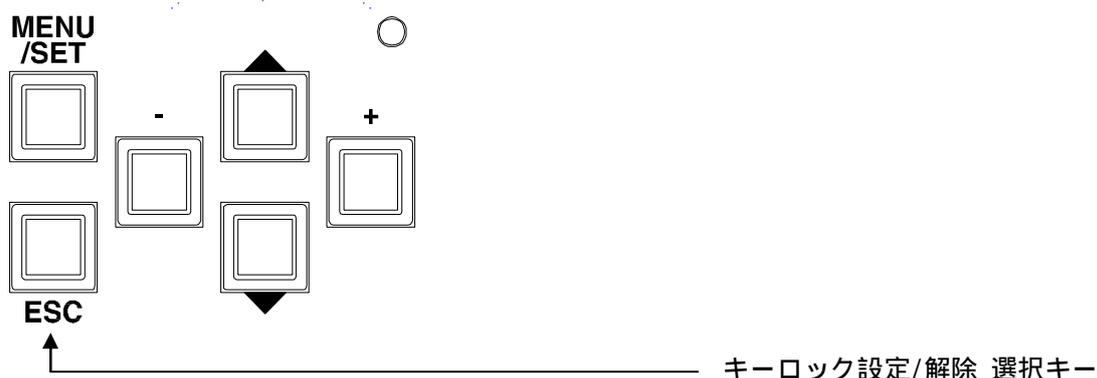
保守用コネクタ (UPDATE)

未使用。

このコネクタには何も接続しないで下さい。

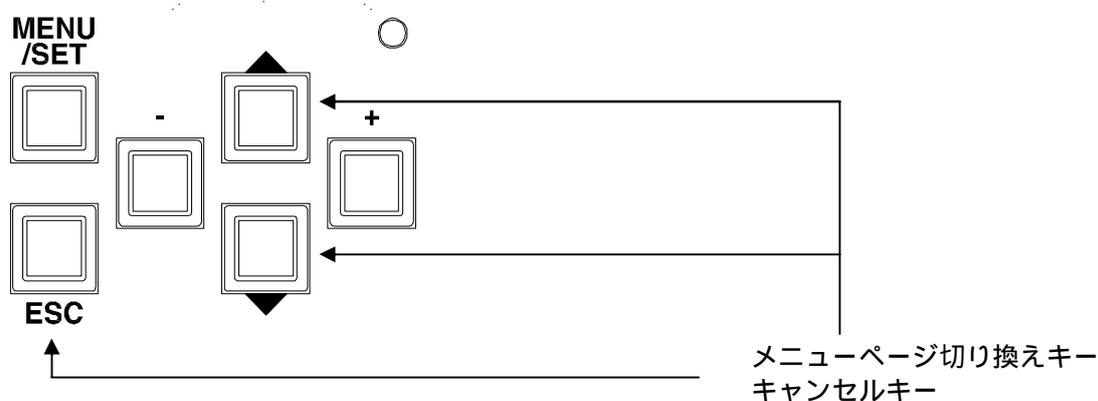
6. 操作方法

6-1. キーロック設定/解除の選択操作



約 2 秒間押し続けることによりキー操作ロック設定/ロック解除を選択して下さい。
 キーロック設定時(フロントキーはロックされます)・・・蛍光表示管に LOCK と表示されます
 キーロック解除時(フロントキーは自由に使用できます)

6-2. 各種メニューの表示操作



MENU/SET キーを押すと蛍光表示管にメニューが表示されます。

(MENU/SET キーが点滅します)

キーを押すとメニューページが切り換わります。

希望するメニューで MENU/SET キーを押すと決定されます、その後の操作は 6-2-1. プリセットメモリの呼出/登録～6-2-18. ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ・ポジションの調整を参照して下さい。

メニュー表示をキャンセルする場合は ESC キーを押して下さい。

MENU/SET キーが押されていない状態 (ESC キー点灯) で \uparrow キー及び \downarrow キーを押すことにより、入力画像ポジション調整ができます。 \leftarrow キーで V (縦方向) \rightarrow キーで H (横方向) の調整が可能です。

移動させすぎると画像が表示されなくなる場合もあります。

メニューの一覧

[FUNCTION SELECT] MEMORY LOAD/SAVE キー	プリセットメモリの呼出/登録 18 ページ
[FUNCTION SELECT] NTSC SOURCE キー	NTSC 入力ソース(OFF/VBS/YC/D1/内蔵パターン)選択 18 ページ
[FUNCTION SELECT] OUTPUT TIMING キー	RGB コンバート出力画像調整(VGA ~ SXGA+、サイズ、ポジション、内蔵テストパターン) 19 ページ
[FUNCTION SELECT] RGB INPUT TIMING キー	RGB 入力画像調整(サイズ、ポジション、フェーズ調整、クロック調整) 22 ページ
[FUNCTION SELECT] NTSC DISPLAY MASK キー	NTSC 入力画像調整(サイズ) 23 ページ
[FUNCTION SELECT] CONTRAST キー	コントラスト調整 24 ページ
[FUNCTION SELECT] BRIGHTNESS キー	ブライツネス調整 24 ページ
[FUNCTION SELECT] INTENSITY キー	インテンシティ(輝度)調整 25 ページ <u>NTSC 入力画像にのみ有効</u>
[FUNCTION SELECT] SATURATION キー	サチュレーション(彩度)調整 25 ページ <u>NTSC 入力画像にのみ有効</u>
[FUNCTION SELECT] GAMMA キー	ガンマ補正 25 ページ
[FUNCTION SELECT] FILTER キー	入力/出力フィルター調整 26 ページ <u>出力フィルターは NTSC 入力画像にのみ有効</u>
[FUNCTION SELECT] HUE キー	HUE 調整 26 ページ <u>NTSC 入力画像にのみ有効</u>
[FUNCTION SELECT] KEYSTONE キー	台形補正 26 ページ
[FUNCTION SELECT] ETC キー	(ラストメモリ ON/OFF、ブザーON/OFF、外部同期 ON/OFF、RS-232C デジチェーン ID 設定、フェードアウト・イン、ブルーバック) 27 ページ
[FUNCTION SELECT] EXTCTRL EXECUTE キー	外部コントロールメモリ実行 28 ページ
[FUNCTION SELECT] EXTCTRL EDIT キー	外部コントロールメモリ作成・編集 29 ページ
[FUNCTION SELECT] MULTI DISPLAY キー	2~9 面マルチディスプレイ設定 30 ページ

キー

[FUNCTION SELECT]
PICTURE IN PICTURE

ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定 32 ページ

6-2-1. プリセットメモリの呼出/登録

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
MEMORY LOAD/SAVE

プリセットメモリの呼出/登録

プリセットメモリの登録で現在設定されている以下の項目をメモリに記憶します。

- ・ NTSC 入力ソース選択
- ・ RGB コンバート出力画像調整値
- ・ RGB 入力画像調整値
- ・ NTSC 入力画像調整値
- ・ 色調整値・輝度調整値 (コントラスト、ブライトネス、インテンシティ、サチュレーション、ガンマ補正、HUE)
- ・ 入力/出力フィルターの調整値
- ・ 台形補正值
- ・ マルチディスプレイ設定値
- ・ ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定値

[MEMORY LOAD]

1

プリセットメモリ呼出(1~4)

キー

[MEMORY SAVE]

1

プリセットメモリ登録(1~4)

+ キー、- キーでメモリ番号を選択後、MENU/SET キーを押すと呼出、又は登録されます。
終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

6-2-2. NTSC 入力ソース (OFF/VBS/YC/D1/内蔵パターン) 選択

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
NTSC SOURCE

NTSC 入力ソース (OFF/VBS/YC/D1/内蔵パターン) 選択

[NTSC SOURCE]
OFF

(OFF~内蔵パターン)

キー

[NTSC INPUT MODE]
NONSTANDARD

入力モード (STANDARD/NON STANDARD)

+ キー、- キーで NTSC 入力ソース (NTSC 入力コネクタ) を選択して下さい。
内蔵パターンを選択した場合、VSC-01 が内蔵しているカラーテストパターンを出力します。
選択した NTSC 入力ソースは RGB 出力画像上にピクチャ・イン・ピクチャ表示されます。
終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

NTSC 入力ソース	<ul style="list-style-type: none"> ・ VBS ・ Y/C ・ D1 ・ 内蔵カラーパターン
NTSC 入力モード	ビデオテープ再生時に発生するノイズをカットするときに有効です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ STANDARD (チューナーモード) ・ NON STANDARD (再生モード)

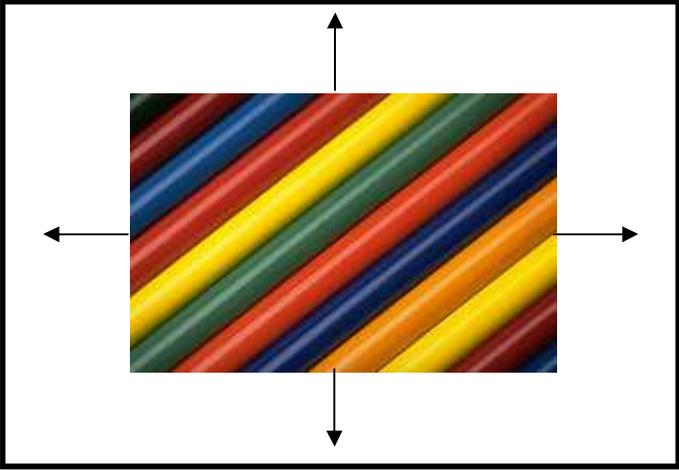
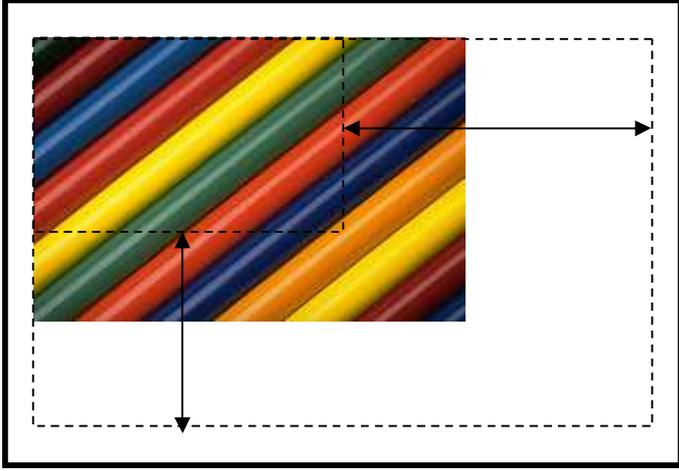
6-2-3.RGB コンバート出力画像調整(VGA～SXGA+、サイズ、ポジション、内蔵テストパターン)

5-2.各種メニューの表示操作(16ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT] OUTPUT TIMING	RGB コンバート出力画像調整(VGA～SXGA+、サイズ、ポジション、他)
[OUTPUT SIGNAL] XGA 1024x768 キー	RGB コンバート出力信号選択 (VGA～SXGA+)
[H POSITION] + 0 DOT キー	出力画像 H (横方向) 表示位置調整 (-98～+98 ドット)
[H SIZE] + 0 DOT キー	出力画像 H (横方向) 表示サイズ調整 (-98～+98 ドット)
[V POSITION] + 0 LINE キー	出力画像 V (縦方向) 表示位置調整 (-99～+99 ライン)
[V SIZE] + 0 LINE キー	出力画像 V (縦方向) 表示サイズ調整 (-99～+99 ライン)
[ASPECT] STANDARD キー	出力アスペクト比の選択 (STANDARD～SQUEEZE)
[TEST PATTERN] OFF キー	テストパターン/タイトルテロップの選択 (OFF～PICTURE)
[FONT] LOCATE=1 SIZE:1 キー	タイトルテロップの表示位置 (OFF～LOCATE=5 SIZE:2)
[FONT] COLOR: WHITE キー	タイトルテロップの表示色 (WHITE～PURPLE)
[FONT] ' OUTPUT ' キー	タイトルテロップの表示文字 (記号、数字、英大文字、英小文字 最大 15 文字)
[FONT] LOCATE=1 SIZE:1 キー	タイトルテロップの表示位置 (OFF～LOCATE=5 SIZE:2)
[DVI PHASE] 4	DVI 出力調整 (0～7)

+ キー、 - キーで各調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16ページ)に戻ります。

<p>RGB コンバート出力信号</p>	<ul style="list-style-type: none"> • VGA 4:3 640x480 59Hz • SVGA 4:3 800x600 60Hz • XGA 4:3 1024x768 60Hz • WXGA 5:3 1280x768 60Hz • QVGA 4:3 1280x960 60Hz • SXGA 5:4 1280x1024 60Hz • SXGA+ 4:3 1365x1024 60Hz • SXGA+ 4:3 1400x1050 60Hz • XGA 4:3 1024x768 60Hz • SXGA 5:4 1280x1024 60Hz • SXGA+ 4:3 1400x1050 60Hz
<p>出力画像 H (横方向) / V (縦方向) 表示位置</p> <p><u>表示する機器(LCD、PDP等)によっては出力表示位置をマイナス方向に移動させすぎると画像が暗くなったり、映らなくなる場合があります。</u></p> <p><u>DVI 出力画像は表示位置を移動させる事ができません。</u></p>	<p style="text-align: center;">出力画像</p> 
<p>出力画像 H (横方向) / V (縦方向) 表示サイズ</p>	<p style="text-align: center;">出力画像</p> 

出力アスペクト比	<p>SQUEEZE を選択すると以下のような 16:9 の画像サイズになります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VGA 16:9 640x360 59Hz ・SVGA 16:9 800x450 60Hz ・XGA 16:9 1024x576 60Hz ・WXGA 16:9 1280x720 60Hz ・QVGA 16:9 1280x720 60Hz ・SXGA 16:9 1280x720 60Hz ・SXGA+ 16:9 1365x768 60Hz ・SXGA+ 16:9 1400x788 60Hz ・XGA 16:9 1024x576 60Hz ・SXGA 16:9 1280x720 60Hz ・SXGA+ 16:9 1400x788 60Hz
テストパターン/タイトルテロップ	<ul style="list-style-type: none"> ・テストパターン OFF ・1 ドットおき縦縞 (VERTICAL STRIPES) ・クロスハッチ (CROSSHATCH) ・白ラスター (WHITE RASTER) ・赤ラスター (RED RASTER) ・緑ラスター (GREEN RASTER) ・青ラスター (BLUE RASTER) ・タイトルテロップ (FONT) ・ビットマップロゴ (PICTURE) <p style="text-align: center;">ラスター以外は入力映像と重ね合わせて表示することができ ず</p>
タイトルテロップの表示位置	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルテロップ表示 OFF (OFF) ・表示位置=左上、文字サイズ=小 (LOCATE=1 SIZE:1) ・表示位置=右上、文字サイズ=小 (LOCATE=2 SIZE:1) ・表示位置=中央、文字サイズ=小 (LOCATE=3 SIZE:1) ・表示位置=左下、文字サイズ=小 (LOCATE=4 SIZE:1) ・表示位置=右下、文字サイズ=小 (LOCATE=5 SIZE:1) ・表示位置=左上、文字サイズ=大 (LOCATE=1 SIZE:2) ・表示位置=中央、文字サイズ=大 (LOCATE=2 SIZE:2) ・表示位置=右上、文字サイズ=大 (LOCATE=3 SIZE:2) ・表示位置=左下、文字サイズ=大 (LOCATE=4 SIZE:2) ・表示位置=右下、文字サイズ=大 (LOCATE=5 SIZE:2)
タイトルテロップの表示色	<ul style="list-style-type: none"> ・文字色=白 (COLOR:WHITE) ・文字色=黒 (COLOR:BLACK) ・文字色=赤 (COLOR:RED) ・文字色=緑 (COLOR:GREEN) ・文字色=青 (COLOR:BLUE) ・文字色=黄 (COLOR:YELLOW) ・文字色=水色 (COLOR:LIGHT BLUE) ・文字色=紫 (COLOR:PURPLE)
タイトルテロップの表示文字	文字=英数字 15 文字まで表示することができます

6-2-4.RGB 入力画像調整(サイズ、ポジション、フェーズ調整、クロック調整)

5-2.各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT] RGB INPUT TIMING	RGB 入力画像調整(サイズ、ポジション、フェーズ調整、クロック調整)
[INPUT TIMING] XGA AUTO DETECT キー	RGB 入力検出モードの選択(AUTO DETECT ~ FIXED)
[H POSITION] + 0 DOT キー	RGB 入力画像 H (横方向) 入力位置調整 (-600 ~ +600 ドット)
[H SIZE] + 0 DOT キー	RGB 入力画像 H (横方向) 入力サイズ調整 (-600 ~ +600 ドット)
[V POSITION] + 0 LINE キー	RGB 入力画像 V (縦方向) 入力位置調整 (-600 ~ +600 ライン)
[V SIZE] + 0 LINE キー	RGB 入力画像 V (縦方向) 入力サイズ調整 (-600 ~ +600 ライン)
[PHASE] 0 MIN キー	RGB 入力画像サンプリングフェーズ調整 (0 ~ 31)
[CLOCK] + 0 キー	RGB 入力画像クロック数調整 (-600 ~ +600)
[THRESHOLD] + 0 キー	RGB 入力検出調整 (1 ~ 7)
[COLOR FORMAT] RGB	RGB 入力カラー変換モード調整 (RGB/YPbPr)

+ キー、- キーで各調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

RGB 入力検出モード	AUTO DETECT: RGB 入力の解像度を自動検出し、RGB 入力に変化があった場合は自動的に適切な画像位置、サイズに調整して表示します。 FIXED: 現在の RGB 入力を固定とし自動検出を行いません。
スキャンコンバートした画像の調整手順	画像に縦縞が出る場合、[CLOCK]を調整して縦縞を取り除いて下さい。 画像にちらつきが出る場合、[PHASE]を調整してちらつきを取り除いて下さい。 画像の左端が表示されない場合、[H POSITION]を調整して左端が表示されるようにして下さい。 画像の右端が表示されない場合、[H SIZE]を調整して右端が表示されるようにして下さい。 画像の上端が表示されない場合、[V POSITION]を調整して上端が表示されるようにして下さい。 画像の下端が表示されない場合、[V SIZE]を調整して下端が表示されるようにして下さい。

一度調整をした RGB 入力画像調整値は内部に記憶されます、再度同じ RGB 入力画像が入力された場合には記憶されている調整値で画像を表示します。(59 種類まで記憶できます)

H POSITION、V POSITION、H SIZE、V SIZE、CLOCK を移動させすぎると画像が表示されなくなる場合があります。

6-2-5.NTSC 入力画像調整(サイズ)

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
NTSC DISPLAY MASK

NTSC 入力画像調整(サイズ)

[TOP & BOTTOM]
0 MIN

NTSC 入力画像 V (縦方向) サイズ調整 (0~50 ライン)

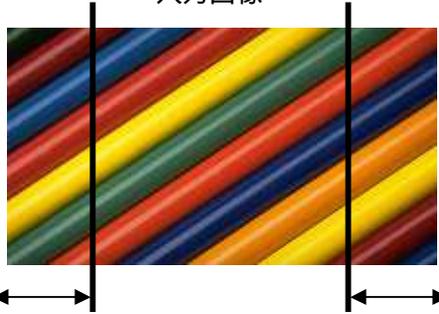
キー

[LEFT & RIGHT]
0 MIN

NTSC 入力画像 H (横方向) サイズ調整 (0~50 ドット)

+ キー、- キーで各調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

入力画像 V (縦方向) サイズ	<p style="text-align: center;">入力画面</p>  <p style="text-align: center;">NTSC 入力画像の上下を設定されたライン数カットします</p>
入力画像 H (横方向) サイズ	<p style="text-align: center;">入力画像</p>  <p style="text-align: center;">NTSC 入力画像の左右を設定されたドット数カットします</p>

**ビデオテープ再生時に発生する上下左右のノイズをカットする時に有効です。
この機能はピクチャーインピクチャー時の機能です。**

6-2-6. コントラスト調整

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
CONTRAST

コントラスト調整

[CONTRAST RGB]
RGB:+ 0

コントラスト RGB 調整 (-20 ~ +20)

キー

[CONTRAST]
R:+ 0 G:+ 0 B:+ 0

コントラスト RGB 個別調整 (-20 ~ +20)

+ キー、 - キーでコントラスト調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

6-2-7. ブライツネス調整

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
BRIGHTNESS

ブライツネス調整

[BRIGHTNESS]
+ 0

ブライツネス調整 (-20 ~ +20)

+ キー、 - キーでブライツネス調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

6-2-8. インテンシティ（輝度）調整

この機能は NTSC 入力画像にのみ有効です

5-2. 各種メニューの表示操作 (16 ページ) の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT] INTENSITY

インテンシティ（輝度）調整

[INTENSITY] + 0

インテンシティ調整 (-10 ~ +10)

+ キー、- キーでインテンシティ（輝度）調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示 (16 ページ) に戻ります。

6-2-9. サチュレーション（彩度）調整

この機能は NTSC 入力画像にのみ有効です

5-2. 各種メニューの表示操作 (16 ページ) の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT] SATURATION

サチュレーション（彩度）調整

[SATURATION] + 0

サチュレーション調整 (-10 ~ +10)

+ キー、- キーでサチュレーション（彩度）調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示 (16 ページ) に戻ります。

6-2-10. ガンマ補正

5-2. 各種メニューの表示操作 (16 ページ) の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT] GAMMA

ガンマ補正

[GAMMA] + 0 NORMAL

ガンマ補正 (-4 ~ +4)

+ キー、- キーでガンマ補正を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示 (16 ページ) に戻ります。

ガンマ補正	ガンマ補正=-4 ~ -1 . . . 暗さ強調 ガンマ補正=0 補正なし ガンマ補正=+1 ~ +4 . . . 明るさ強調
-------	---

6-2-11. 入力/出力フィルター調整

出力フィルターは NTSC 入力画像にのみ有効です

5-2. 各種メニューの表示操作 (16 ページ) の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
FILTER

入力/出力フィルター調整

[INPUT FILTER]
+ 0 NORMAL

入力フィルター調整 (-10 ~ +10)

キー

[OUTPUT FILTER]
+ 0 NORMAL

出力フィルター調整 (-10 ~ +10)

+ キー、- キーでフィルター調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示 (16 ページ) に戻ります。

フィルター	フィルター=-10 ~ -1 フィルター弱、輪郭がソフトな画像 フィルター=0 フィルターなし フィルター=+1 ~ +10 フィルター強、輪郭がシャープな画像
-------	--

6-2-12. HUE 調整

この機能は NTSC 入力画像にのみ有効です

5-2. 各種メニューの表示操作 (16 ページ) の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
HUE

HUE 調整

[HUE]
0 MIN

HUE 調整 (0 ~ 360 度)

+ キー、- キーで HUE 調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示 (16 ページ) に戻ります。

6-2-13. 台形補正

5-2. 各種メニューの表示操作 (16 ページ) の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
KEystone

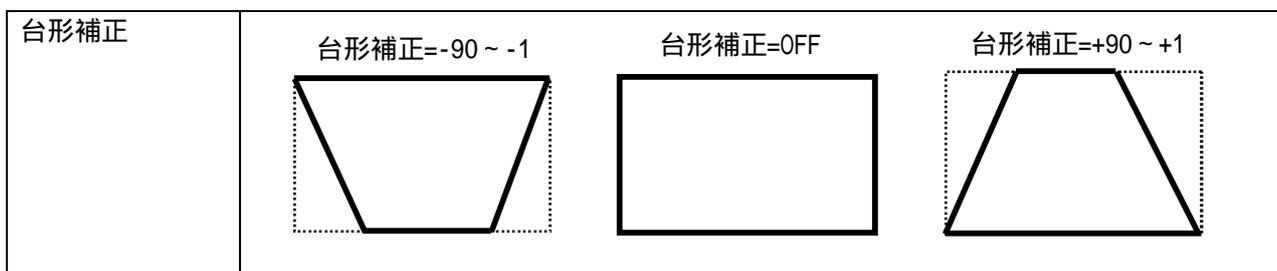
台形補正

[KEystone]
OFF

台形補正 (-90 ~ OFF ~ +90)

+ キー、- キーで台形補正値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示 (16 ページ) に戻ります。



6-2-14. その他設定 (ラストメモリ ON/OFF、ブザーON/OFF、外部同期 ON/OFF、RS-232C デジーチェーン ID 設定、フェードアウト・イン、ブルーバック)

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT] ETC	ラストメモリ、ブザー、外部同期、RS-232C デジーチェーン ID 設定
[LAST MEMORY] ON キー	ラストメモリ使用 (ON ~ OFF)
[BUZZER] OFF (x) キー	ブザー使用 < キー確認音 > (OFF ~ ON)
[VERSION] VSC-01 x.xx キー	バージョン情報
[EXTERNAL SYNC] OFF キー	外部同期 (OFF ~ ON)
[DAISY CHAIN ID] 1 キー	RS-232C デジーチェーン ID (1 ~ 99)
[FADE OUT-IN] OFF キー	フェードアウト・フェードイン (OFF ~ ON)
[BLUE BACK] OFF	ブルーバック (OFF ~ ON)

+ キー、- キーで ON/OFF を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

ラストメモリ使用を ON にすると電源 OFF 前の状態を記憶し、次回電源 ON 時には記憶されている設定状態で立ち上がります。

記憶される設定項目

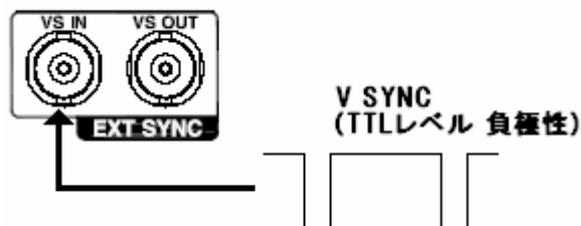
- ・ NTSC 入力ソース選択
- ・ RGB コンバート出力画像調整値
- ・ RGB 入力画像調整値
- ・ NTSC 入力画像調整値
- ・ 色調整値・輝度調整値 (コントラスト、ブライトネス、インテンシティ、サチュレーション、ガンマ補正、HUE)
- ・ 入力/出力フィルターの調整値
- ・ 台形補正值
- ・ マルチディスプレイ設定値
- ・ ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定値

フェードアウト・フェードイン機能は、6-2-18 ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ・ポジションの調整に於いて入力ソースの変更時に機能します。

外部同期機能を使用する時は EXT SYNC 入力の VS IN 端子に、外部機器からの V SYNC 信号 (TTL レベル・負極性) を入力して下さい。

必ず先に V SYNC 信号を入力してから [EXTERNAL SYNC]メニューを ON にして下さい。

[EXTERNAL SYNC]メニューを ON にした状態で V SYNC 信号が入力されていない場合はエラーメッセージが表示され、自動的に外部同期機能は OFF (内部同期で動作) になります。

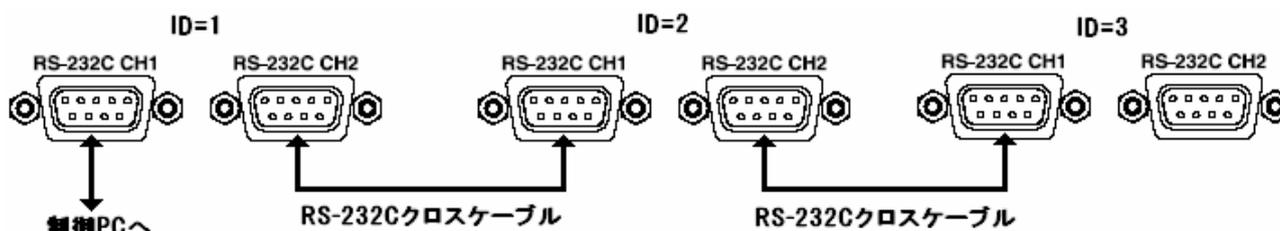


EXTERNAL SYNC ERROR
PUSH ESC KEY

V SYNC 信号が入力されていない場合のエラーメッセージ

RS-232C デイジーチェーンを使用して VSC-01 を複数台接続する場合は、各 VSC-01 に RS-232C デイジーチェーン ID を設定して下さい。

デイジーチェーン用通信コマンドを使用すれば、指定した ID の VSC-01 に対して制御を行うことができます。



デイジーチェーン使用時のケーブル接続図

RS-232C CH2 と次の VSC-01 の RS-232C CH1 をクロスケーブルで接続して下さい。

6-2-15. 外部コントロールメモリ実行

5-2. 各種メニューの表示操作 (16 ページ) の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
EXTCTRL EXECUTE

外部コントロールメモリ実行

[EXTCTRL 1 EXECUTE]

外部コントロールメモリ 1 実行

キー

[EXTCTRL 9 EXECUTE]

外部コントロールメモリ 9 実行

キーで外部コントロールメモリ番号 (1~9) 選択後、MENU/SET キーを押すと登録されている外部コントロールメモリを RS-232C CH1 又は CH2 から送出します。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示 (16 ページ) に戻ります。

6-2-16. 外部コントロールメモリ作成・編集

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
EXTCTRL EDIT

外部コントロールメモリ作成・編集

[EXTCTRL 1 EDIT]

外部コントロールメモリ 1 作成・編集

キー

[EXTCTRL 9 EDIT]

外部コントロールメモリ 9 作成・編集

キーで外部コントロールメモリ番号(1~9)選択後、MENU/SET キーを押すと外部コントロールメモリの設定データが表示されます。

DATA LENGTH:00 BYTE
MEMO:

データ数(01~30、00はデータ未登録扱いとなります)
コメント文字(14文字)

キー

DATA:00,00,00,00,00
1/3:00,00,00,00,00

データ1バイト目~5バイト目(00~FF)
データ6バイト目~10バイト目(00~FF)

キー

DATA:00,00,00,00,00
2/3:00,00,00,00,00

データ11バイト目~15バイト目(00~FF)
データ16バイト目~20バイト目(00~FF)

キー

DATA:00,00,00,00,00
3/3:00,00,00,00,00

データ21バイト目~25バイト目(00~FF)
データ26バイト目~30バイト目(00~FF)

キー

PORT:9600 8 NONE 1
COM :RS-232C CH1

RS-232C 通信設定(9600 8 NONE 1~38400 7 EVEN 2)
使用するRS-232Cポート(RS-232C CH1~RS-232C CH2)

+ キー、- キーで各データ設定後、MENU/SET キーを押すと登録されます。

終了する場合はESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

データ数	00=データ未登録とみなされます 01~30=データ1バイト目から何バイトを送出するか設定します
コメント文字	外部コントロールメモリの名前等を入れておくと便利です(14文字まで)
データ1バイト目~30バイト目	16進数の00~FFで設定します データ1バイト目から順に設定して下さい “データ数”で指定されたバイト数を、データ1バイト目から送出不します
RS-232C 通信設定	外部コントロールメモリを送出するRS-232C通信設定を選択します ボーレート、データビット、パリティチェック、ストップビットの順に表示されています
使用するRS-232Cポート	RS-232C CH1 又は CH2 どちらのポートを使用するか選択します

6-2-17. マルチ画面設定

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]

MULTI DISPLAY

2~9 面マルチディスプレイ設定

[MULTI DISPLAY]

HV:OFF OFF

マルチ画面タイプ、画面位置

キー

[H POSITION]

+ 0 DOT

RGB 入力画像 H (横方向) 入力位置調整 (-600 ~ +600 ドット)

キー

[H SIZE]

+ 0 DOT

RGB 入力画像 H (横方向) 入力サイズ調整 (-600 ~ +600 ドット)

キー

[V POSITION]

+ 0 LINE

RGB 入力画像 V (縦方向) 入力位置調整 (-600 ~ +600 ライン)

キー

[V SIZE]

+ 0 LINE

RGB 入力画像 V (縦方向) 入力サイズ調整 (-600 ~ +600 ライン)

+ キー、- キーで各調整値を設定して下さい。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

マルチ画面タイプ、画面位置	<p>マルチ画面タイプを HV:2x1 ~ HV:3x3 から選択して下さい。 画面位置を H1-V1 ~ H3-V3 から選択して下さい。</p> <p>HV:2x1 の場合</p> <table border="1" data-bbox="671 1176 925 1254"> <tr> <td>H1-V1</td> <td>H2-V1</td> </tr> </table> <p>HV:3x1 の場合</p> <table border="1" data-bbox="671 1288 1051 1366"> <tr> <td>H1-V1</td> <td>H2-V1</td> <td>H3-V1</td> </tr> </table>	H1-V1	H2-V1	H1-V1	H2-V1	H3-V1				
H1-V1	H2-V1									
H1-V1	H2-V1	H3-V1								
	<p>HV:1x2 の場合</p> <table border="1" data-bbox="671 1433 799 1585"> <tr> <td>H1-V1</td> </tr> <tr> <td>H1-V2</td> </tr> </table> <p>HV:1x3 の場合</p> <table border="1" data-bbox="671 1630 812 1861"> <tr> <td>H1-V1</td> </tr> <tr> <td>H1-V2</td> </tr> <tr> <td>H1-V3</td> </tr> </table> <p>HV:2x2 の場合</p> <table border="1" data-bbox="671 1899 938 2049"> <tr> <td>H1-V1</td> <td>H2-V1</td> </tr> <tr> <td>H1-V2</td> <td>H2-V2</td> </tr> </table>	H1-V1	H1-V2	H1-V1	H1-V2	H1-V3	H1-V1	H2-V1	H1-V2	H2-V2
H1-V1										
H1-V2										
H1-V1										
H1-V2										
H1-V3										
H1-V1	H2-V1									
H1-V2	H2-V2									

	<p>HV:3x2 の場合</p> <table border="1" data-bbox="684 226 1066 383"> <tr> <td>H1-V1</td> <td>H2-V1</td> <td>H3-V1</td> </tr> <tr> <td>H1-V2</td> <td>H2-V2</td> <td>H3-V2</td> </tr> </table> <p>HV:2x3 の場合</p> <table border="1" data-bbox="684 421 940 651"> <tr> <td>H1-V1</td> <td>H2-V1</td> </tr> <tr> <td>H1-V2</td> <td>H2-V2</td> </tr> <tr> <td>H1-V3</td> <td>H2-V3</td> </tr> </table> <p>HV:3x3 の場合</p> <table border="1" data-bbox="684 689 1080 920"> <tr> <td>H1-V1</td> <td>H2-V1</td> <td>H3-V1</td> </tr> <tr> <td>H1-V2</td> <td>H2-V2</td> <td>H3-V2</td> </tr> <tr> <td>H1-V3</td> <td>H2-V3</td> <td>H3-V3</td> </tr> </table> <p><u>画面位置に OFF を選択すると通常表示になります。</u></p>	H1-V1	H2-V1	H3-V1	H1-V2	H2-V2	H3-V2	H1-V1	H2-V1	H1-V2	H2-V2	H1-V3	H2-V3	H1-V1	H2-V1	H3-V1	H1-V2	H2-V2	H3-V2	H1-V3	H2-V3	H3-V3
H1-V1	H2-V1	H3-V1																				
H1-V2	H2-V2	H3-V2																				
H1-V1	H2-V1																					
H1-V2	H2-V2																					
H1-V3	H2-V3																					
H1-V1	H2-V1	H3-V1																				
H1-V2	H2-V2	H3-V2																				
H1-V3	H2-V3	H3-V3																				
マルチ画面の調整手順	<p>マルチ画面タイプを選択して下さい。 画面位置を選択して下さい。 この時点でおおまかなマルチ画面が表示されます、微調整は以下の ~ で行って下さい。 画像の左端が表示されない場合、[H POSITION]を調整して左端が表示されるようにして下さい。 画像の右端が表示されない場合、[H SIZE]を調整して右端が表示されるようにして下さい。 画像の上端が表示されない場合、[V POSITION]を調整して上端が表示されるようにして下さい。 画像の下端が表示されない場合、[V SIZE]を調整して下端が表示されるようにして下さい。</p>																					

マルチ画面時に外部同期を使用する場合には 30 ページを参照してください。

画面位置によっては H POSITION、V POSITION を移動させすぎると画像が表示されなくなる場合もあります。

6-2-18. ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ・ポジションの調整

5-2. 各種メニューの表示操作(16 ページ)の操作で下記メニューを表示後、MENU/SET を押して下さい。

[FUNCTION SELECT]
PICTURE IN PICTURE

ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定

[PinP SELECT]
OFF in OFF

親画面入力ソースの選択 (OFF、NTSC、RGB)

キー

[PinP SELECT]
OFF in OFF

子画面入力ソースの選択 (OFF、NTSC、RGB)

キー

[PinP H POSITION]
+ 1 DOT MIN

子画面 H (横方向) 表示位置調整 (+1 ドット ~ 出力画面サイズ)

キー

[PinP V POSITION]
+ 1 LINE MIN

子画面 V (縦方向) 表示位置調整 (+1 ライン ~ 出力画面サイズ)

キー

[PinP SIZE]
H: 320 V: 240 H&V

子画面 H,V 表示サイズ調整 (32 ~ 出力画面サイズ)、サイズ調整モード

+ キー、- キーでピクチャ・イン・ピクチャ親画面・子画面・表示位置・表示サイズを設定して下さい。
サイズ調整モードを H&V にすると、縦横のアスペクト比を保ったまま H、V 連動してサイズを調整します。
サイズ調整モードを H/V にすると、H、V 個別にサイズを調整できます。

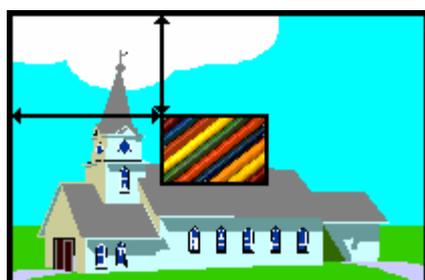
親画面入力ソース時に子画面入力ソースと同じソースを選択した場合は親画面と子画面が入れ替わります。

子画面入力ソース時は親画面入力ソースと同じソースを選択できません。

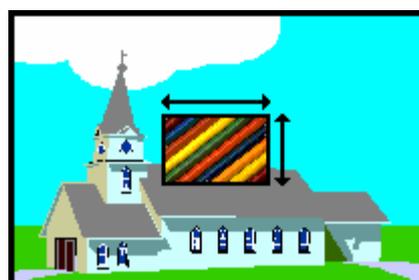
ピクチャ・イン・ピクチャ子画面表示位置、表示サイズは NTSC 入力と RGB 入力共通です。

終了する場合は ESC キーを押して下さい、メニュー一覧表示(16 ページ)に戻ります。

子画面表示位置



子画面表示サイズ



7. 通信制御コマンド

7-1. 通信フォーマット

RS-232C 通信フォーマット(CH1、CH2 共通)	
ボーレート	9600bps
データビット長	8 ビット
ストップビット長	1 ビット
パリティチェック	無し
Xパラメータ	無効
デリミタ	CR+LF (HEX コードの 0Dh と 0Ah)
通信方式	全二重

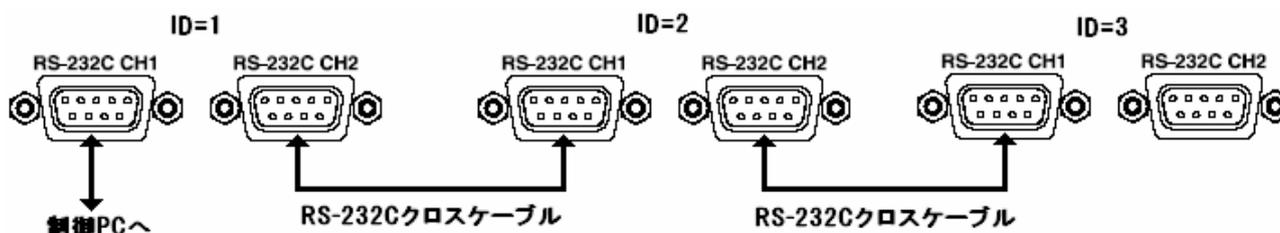
7-2. コネクタ、ケーブル仕様

VSC-01 側		コンピュータ側	
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	NC	1	NC
2	RD (受信データ)	3	TD
3	TD (送信データ)	2	RD
4	NC	4	DTR
5	GND (グラウンド)	5	GND
6	NC	6	DSR
7	RTS (送信要求)	8	CTS
8	CTS (送信可)	7	RTS
9	NC	9	NC

RS-232C クロスケーブルを使用してください。

RS-232C デイジーチェーンを使用して VSC-01 を複数台接続する場合は、各 VSC-01 に RS-232C デイジーチェーン ID を設定 (27 ページ) して下さい。

デイジーチェーン用通信コマンドを使用すれば、指定した ID の VSC-01 に対して制御を行うことができます。



デイジーチェーン使用時のケーブル接続図

RS-232C CH2 と次の VSC-01 の RS-232C CH1 をクロスケーブルで接続して下さい。

7-5. コマンド一覧

コマンド	機能	説明ページ
------	----	-------

チャンネル切替

@IOS	RGB 出力チャンネルを選択します	38 ページ
@SPI	ピクチャインピクチャ チャンネルを選択します	39 ページ
@GPI	設定されているピクチャインピクチャ チャンネルを取得します	40 ページ
@SNS	NTSC 入力ソースを設定します	41 ページ
@GNS	設定されている NTSC 入力ソースを取得します	42 ページ

メモリ登録/呼出

@SPM	現在の状態をプリセットメモリに登録します	43 ページ
@RPM	登録されているプリセットメモリを呼び出します	43 ページ

RGB 入力画像調整

@SSC	RGB 入力画像のクロック数調整値を設定します	44 ページ
@GSC	設定されている RGB 入力画像のクロック数調整値を取得します	45 ページ
@SSH	RGB 入力画像のサンプリングフェーズ調整値を設定します	46 ページ
@GSH	設定されている RGB 入力画像のサンプリングフェーズ調整値を取得します	47 ページ
@SSS	RGB 入力画像のサイズ調整値を設定します	48 ページ
@GSS	設定されている RGB 入力画像のサイズ調整値を取得します	49 ページ
@SSP	RGB 入力画像のポジション調整値を設定します	50 ページ
@GSP	設定されている RGB 入力画像のポジション調整値を取得します	51 ページ
@SIM	RGB 入力画像の入力検出モードを設定します	52 ページ
@GIM	設定されている RGB 入力画像の入力検出モードを取得します	53 ページ
@SCF	RGB 入力画像のカラー変換モードを設定します。	54 ページ
@GCF	設定されている RGB 入力画像のカラー変換モードを取得します。	55 ページ

出力画像調整

@SOT	出力映像信号 (VGA ~ SXGA+) を設定します	56 ページ
@GOT	設定されている出力映像信号を取得します	57 ページ
@SAP	出力画像アスペクト比を設定します	58 ページ
@GAP	設定されている出力画像アスペクト比を取得します	59 ページ
@SMS	NTSC 出力画像のマスクを設定します	60 ページ
@GMS	設定されている NTSC 出力画像のマスクを取得します	61 ページ
@SOP	出力画像のポジション調整値を設定します	62 ページ
@GOP	設定されている出力画像のポジション調整値を取得します	63 ページ
@SOS	出力画像のサイズ調整値を設定します	64 ページ
@GOS	設定されている出力画像のサイズ調整値を取得します	65 ページ

コマンド	機能	説明ページ
------	----	-------

出力調整その他

@SFL	入力/出力フィルタを設定します	66 ページ
@GFL	設定されている入力/出力フィルタを取得します	67 ページ
@SKY	台形補正値を設定します	68 ページ
@GKY	設定されている台形補正値を取得します	69 ページ
@STP	テストパターンを表示します	70 ページ
@GTP	設定されているテストパターンを取得します	71 ページ

出力色/輝度調整

@SBR	ブライトを設定します	72 ページ
@GBR	設定されているブライトを取得します	73 ページ
@SCO	RGB コントラストを設定します	74 ページ
@GCO	設定されている RGB コントラストを取得します	75 ページ
@SIT	インテンシティを設定します	76 ページ
@GIT	設定されているインテンシティを取得します	77 ページ
@SST	サチュレーションを設定します	78 ページ
@GST	設定されているサチュレーションを取得します	79 ページ
@SGM	ガンマ補正値を設定します	80 ページ
@GGM	設定されているガンマ補正値を取得します	81 ページ
@SHU	HUE を設定します	82 ページ
@GHU	設定されている HUE を取得します	83 ページ

ピクチャ・イン・ピクチャ

@SPP	ピクチャ・イン・ピクチャの画像ポジション調整値を設定します	84 ページ
@GPP	設定されているピクチャ・イン・ピクチャの画像ポジション調整値を取得します	85 ページ
@SPS	ピクチャ・イン・ピクチャの画像サイズ調整値を設定します	86 ページ
@GPS	設定されているピクチャ・イン・ピクチャの画像サイズ調整値を取得します	87 ページ

マルチ画面表示

@SMD	マルチ画面表示の画面タイプ、画面位置を設定します	88 ページ
@GMD	設定されているマルチ画面表示の画面タイプ、画面位置を取得します	89 ページ
@SDS	マルチ画面表示の画像サイズ調整値を設定します	90 ページ
@GDS	設定されているマルチ画面表示の画像サイズ調整値を取得します	91 ページ
@SDP	マルチ画面表示の画像ポジション調整値を設定します	92 ページ
@GDP	設定されているマルチ画面表示の画像ポジション調整値を取得します	93 ページ

製品バージョン

@GIV	接続されている製品 ID とバージョンを取得します	94 ページ
------	---------------------------	--------

コマンド	機能	説明ページ
------	----	-------

タイトルテロップ

@SFP	タイトルテロップ表示位置/サイズ/色を設定します	100 ページ
@GFP	設定されているタイトルテロップ表示位置/サイズ/色を取得します	101 ページ
@SFD	タイトルテロップ文字を設定します	102 ページ
@GFD	設定されているタイトルテロップ文字を取得します	103 ページ

デジチェーン

@DIY	デジチェーン接続を使用する場合に使うコマンドです	104 ページ
------	--------------------------	---------

エラー一覧

エラーステータス	内容
@ERR,1	パラメータにエラーがあります 取扱説明書の 7-6 コマンド詳細を確認してください
@ERR,2	未定義のコマンドです 取扱説明書の 7-5 コマンド一覧を確認してください
@ERR,4	外部通信コマンドが設定されていません 外部通信コマンドを登録してください
@ERR,5	本体が MENU 設定中です 本体の ESC キーを押して MENU 設定を終了してください
@ERR,6	RGB 入力がありません RGB 入力に映像信号を入力後にコマンドを通信してください
@ERR,7	ピクチャ・イン・ピクチャ画像が選択されていません ピクチャ・イン・ピクチャ画像を選択後にコマンドを通信してください
@ERR,8	RGB 入力がありません RGB 入力に映像信号を入力後にコマンドを通信してください
@ERR,9	マルチ画面が選択されていません マルチ画面を選択後にコマンドを通信してください

7-6. コマンド詳細

7-6-1. @IOS (Input/Output Select)

コマンド	@IOS (Input/Output Select)
機能	RGB 出力チャンネルを選択します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
I	49h	
O	4Fh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 2	30h ~ 32h	RGB 出力チャンネル番号 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0 : OFF
 1 : NTSC
 2 : RGB

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-2.@SPI (Set Picture In Picture)

コマンド	@SPI (Set Picture In Picture)
機能	ピクチャインピクチャ チャンネルを選択します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
P	50h	
I	49h	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ピクチャインピクチャ チャンネル番号 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0 : OFF
 1 : NTSC
 2 : RGB

・ 返り値

返り値コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

ピクチャインピクチャは NTSC が親画面の場合 RGB を子画面に選択することが可能、又は RGB が親画面の場合 NTSC を子画面に選択することが可能です。

NTSC を親画面と子画面両方に選択することはできません、又は RGB を親画面と子画面両方に選択することはできません。

7-6-3.@GPI (Get Picture In Picture)

コマンド	@GPI (Get Picture In Picture)
機能	設定されているピクチャインピクチャ チャンネルを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
I	49h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
I	49h	
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ピクチャインピクチャ チャンネル番号 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0 : OFF
 1 : NTSC
 2 : RGB

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-4.@SNS (Set NTSC Source)

コマンド	@SNS (Set NTSC Source)
機能	NTSC 入力ソースを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
N	4Eh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~4	30h~34h	NTSC 入力ソース [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0 : OFF
 1 : VBS 入力
 2 : Y/C 入力
 3 : D1 入力
 4 : 内蔵パターン

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

選択した NTSC 入力ソースは RGB 出力画像上にピクチャ・イン・ピクチャ表示されます。

7-6-5.@GNS (Get NTSC Source)

コマンド	@GNS (Get NTSC Source)
機能	設定されている NTSC 入力ソースを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
N	4Eh	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
N	4Eh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~4	30h~34h	NTSC 入力ソース [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0 : OFF
 1 : VBS 入力
 2 : Y/C 入力
 3 : D1 入力
 4 : 内蔵パターン

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-6.@SPM (Store Preset Memory)

コマンド	@SPM (Store Preset Memory)
機能	現在の設定状態をプリセットメモリに登録します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
P	50h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
1~4	31h~34h	登録するプリセットメモリ番号
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-7.@RPM (Recall Preset Memory)

コマンド	@RPM (Recall Preset Memory)
機能	登録されているプリセットメモリを呼び出します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
R	52h	
P	50h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
1~4	31h~34h	呼び出すプリセットメモリ番号
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

プリセットメモリに登録される項目

- ・ NTSC 入力ソース選択
- ・ RGB コンバート出力画像調整値
- ・ RGB 入力画像調整値
- ・ NTSC 入力画像調整値
- ・ 色調整値・輝度調整値 (コントラスト、ブライトネス、インテンシティ、サチュレーション、ガンマ補正、HUE)
- ・ 入力/出力フィルターの調整値
- ・ 台形補正值
- ・ マルチディスプレイ設定値
- ・ ピクチャ・イン・ピクチャ表示サイズ、ポジション設定値

7-6-8.@SSC (Set Scanconvert Clock)

コマンド	@SSC (Set Scanconvert Clock)
機能	RGB 入力画像のクロック数調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	クロック数調整値 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] + (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-9.@GSC (Get Scanconvert Clock)

コマンド	@GSC (Get Scanconvert Clock)
機能	設定されている RGB 入力画像のクロック数調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
C	43h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	クロック数調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-10.@SSH (Set Scanconvert Sampling Phase)

コマンド	@SSH (Set Scanconvert Sampling Phase)
機能	RGB 入力画像のサンプリングフェーズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
H	48h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 31	30h ~ 33h31h	サンプリングフェーズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-11.@GSH (Get Scanconvert Sampling Phase)

コマンド	@GSH (Get Scanconvert Sampling Phase)
機能	設定されている RGB 入力画像のサンプリングフェーズ調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
H	48h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
H	48h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 31	30h ~ 39h31h	サンプリングフェーズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-12.@SSS (Set Scanconvert Size)

コマンド	@SSS (Set Scanconvert Size)
機能	RGB 入力画像のサイズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600 (ドット)	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	H サイズ調整値 [1]
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600 (ライン)	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	V サイズ調整値 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 2 ドット単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

[2] 1 ライン単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-13.@GSS (Get Scanconvert Size)

コマンド	@GSS (Get Scanconvert Size)
機能	設定されている RGB 入力画像のサイズ調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600 (ドット)	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	H サイズ調整値
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600 (ライン)	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	V サイズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-14. @SSP (Set Scanconvert Position)

コマンド	@SSP (Set Scanconvert Position)
機能	RGB 入力画像のポジション調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600 (ドット)	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	H ポジション調整値 [1]
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600 (ライン)	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	V ポジション調整値 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 2 ドット単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。 例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

[2] 1 ライン単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。 例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-15.@GSP (Get Scanconvert Position)

コマンド	@GSP (Get Scanconvert Position)
機能	設定されている RGB 入力画像のポジション調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600 (ドット)	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	H ポジション調整値
,	2Ch	区切り
-600 ~ +600 (ライン)	2Dh36h30h30h ~ 2Bh36h30h30h	V ポジション調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-16.@SIM (Set Input Mode)

コマンド	@SIM (Set Input Mode)
機能	RGB 入力画像の入力検出モードを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
I	49h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	入力検出モード [1]
,	2Ch	区切り
0~59	30h~35h39h	予約データ [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0:RGB 入力自動検出モード・・・RGB 入力信号を自動で検出し RGB 入力信号に変化があった場合、自動的に画像位置、サイズを調整します。
 1:RGB 入力固定モード・・・現在の RGB 入力信号を固定とし自動で検出を行いません。
 2:予約・・・・・・・・・・・・・・弊社調整用です。通常は使用しません。
- [2] RGB 入力検出固定モードの時に指定します。通常 0 を指定してください。
RGB 入力検出固定モード以外の場合には省略してください。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-17.@GIM (Get Input Mode)

コマンド	@GIM (Get Input Mode)
機能	設定されている RGB 入力画像の入力検出モードを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
M	4Dh	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
0 ~ 1	30h ~ 31h	入力検出モード [1]
,	2Ch	区切り
00 ~ 59	30h30h ~ 35h39h	予約データ
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0:RGB 入力自動検出モード・・・RGB 入力信号を自動で検出し RGB 入力信号に変化があった場合、自動的に画像位置、サイズを調整します。

1:RGB 入力固定モード・・・現在の RGB 入力信号を固定とし自動で検出を行いません。

2:予約・・・・・・・・・・・・・・弊社調整用です。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-18.@SCF (Set Color Format)

コマンド	@SCF (Set Color Format)
機能	RGB 入力画像のカラー変換モードを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
C	43h	
F	46h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	カラー変換モード [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0:RGB カラーモード
 1:YPbPr カラーモード
 出力機器の設定に合わせて設定して下さい。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入りに映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-19.@GCF (Get Color Format)

コマンド	@GCF (Get Color Format)
機能	設定されている RGB 入力画像のカラー変換モードを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
F	46h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
F	46h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	カラー変換モード [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0:RGB カラーモード
1:YPbPr カラーモード

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

RGB 入力に映像信号が入力された状態でこのコマンドを使用して下さい。

7-6-20.@SOT (Set Output Timing)

コマンド	@SOT (Set Output Timing)
機能	出力映像信号を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
O	4Fh	
T	54h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 10	30h ~ 31h30h	出力映像信号 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0 : VGA	4:3	640x480	59Hz
1 : SVGA	4:3	800x600	60Hz
2 : XGA	4:3	1024x768	60Hz
3 : WXGA	5:3	1280x768	60Hz
4 : QVGA	4:3	1280x960	60Hz
5 : SXGA	5:4	1280x1024	60Hz
6 : SXGA+	4:3	1365x1024	60Hz
7 : SXGA+	4:3	1400x1050	60Hz
8 : XGA	4:3	1024x768	60Hz
9 : SXGA	5:4	1280x1024	60Hz
10 : SXGA+	4:3	1400x1050	60Hz

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-21.@GOT (Get Output Timing)

コマンド	@GOT (Get Output Timing)
機能	設定されている出力映像信号を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
T	54h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
T	54h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 10	30h ~ 31h30h	出力映像信号 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0 : VGA 4:3 640x480 59Hz
 1 : SVGA 4:3 800x600 60Hz
 2 : XGA 4:3 1024x768 60Hz
 3 : WXGA 5:3 1280x768 60Hz
 4 : QVGA 4:3 1280x960 60Hz
 5 : SXGA 5:4 1280x1024 60Hz
 6 : SXGA+ 4:3 1365x1024 60Hz
 7 : SXGA+ 4:3 1400x1050 60Hz
 8 : XGA 4:3 1024x768 60Hz
 9 : SXGA 5:4 1280x1024 60Hz
 10 : SXGA+ 4:3 1400x1050 60Hz

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-22.@SAP (Set Aspect)

コマンド	@SAP (Set Aspect)
機能	出力画像アスペクト比を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
A	41h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	出力画像アスペクト比 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0: 標準アスペクト	VGA	4:3	640x480	59Hz	
	SVGA	4:3	800x600	60Hz	
	XGA	4:3	1024x768	60Hz	
	WXGA	5:3	1280x768	60Hz	
	QVGA	4:3	1280x960	60Hz	
	SXGA	5:4	1280x1024	60Hz	
	SXGA+	4:3	1365x1024	60Hz	
	SXGA+	4:3	1400x1050	60Hz	
	1: スクイーズ(16:9)	VGA	16:9	640x360	59Hz
		SVGA	16:9	800x450	60Hz
XGA		16:9	1024x576	60Hz	
WXGA		16:9	1280x720	60Hz	
QVGA		16:9	1280x720	60Hz	
SXGA		16:9	1280x720	60Hz	
SXGA+		16:9	1365x768	60Hz	
SXGA+		16:9	1400x788	60Hz	

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-23. @GAP (Get Aspect)

コマンド	@GAP (Get Aspect)
機能	設定されている出力画像アスペクト比を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
A	41h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
A	41h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	出力画像アスペクト比 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0 : 標準アスペクト	VGA	4:3	640x480	59Hz	
	SVGA	4:3	800x600	60Hz	
	XGA	4:3	1024x768	60Hz	
	WXGA	5:3	1280x768	60Hz	
	QVGA	4:3	1280x960	60Hz	
	SXGA	5:4	1280x1024	60Hz	
	SXGA+	4:3	1365x1024	60Hz	
	SXGA+	4:3	1400x1050	60Hz	
	1 : スクイーズ(16:9)	VGA	16:9	640x360	59Hz
		SVGA	16:9	800x450	60Hz
XGA		16:9	1024x576	60Hz	
WXGA		16:9	1280x720	60Hz	
QVGA		16:9	1280x720	60Hz	
SXGA		16:9	1280x720	60Hz	
SXGA+		16:9	1365x768	60Hz	
SXGA+		16:9	1400x788	60Hz	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-24.@SMS (Set Mask Size)

コマンド	@SMS (Set Mask Size)
機能	NTSC 出力画像のマスクを設定します

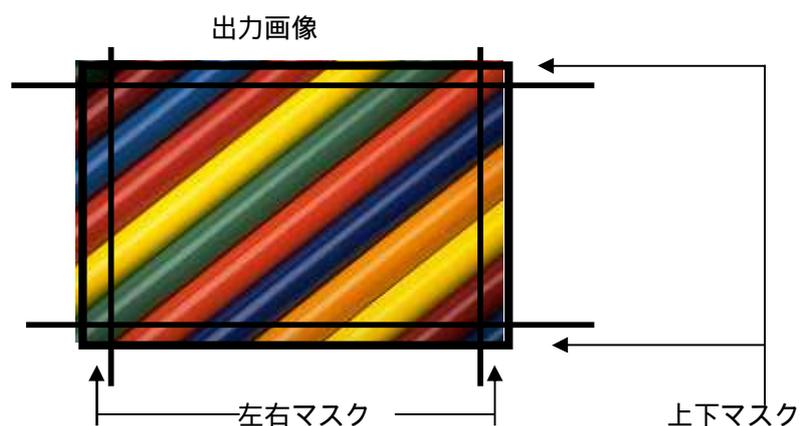
フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
M	4Dh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~50 (ライン)	30h~35h30h	出力画像上下マスク [1]
,	2Ch	区切り
0~50 (ドット)	30h~35h30h	出力画像左右マスク [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 1ライン単位で設定

[2] 2ドット単位で設定

・返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。



出力画像の上下左右を最大 50 ライン/50 ドットまでカットすることができます。ビデオテープ再生時に発生する上下左右のノイズをカットする時に有効です。

7-6-25.@GMS (Get Mask Size)

コマンド	@GMS (Get Mask Size)
機能	設定されている出力画像のマスクを取得します(データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
M	4Dh	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
M	4Dh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~50 (ライン)	30h~35h30h	出力画像上下マスク
,	2Ch	区切り
0~50 (ドット)	30h~35h30h	出力画像左右マスク
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-26.@SOP (Set Output Position)

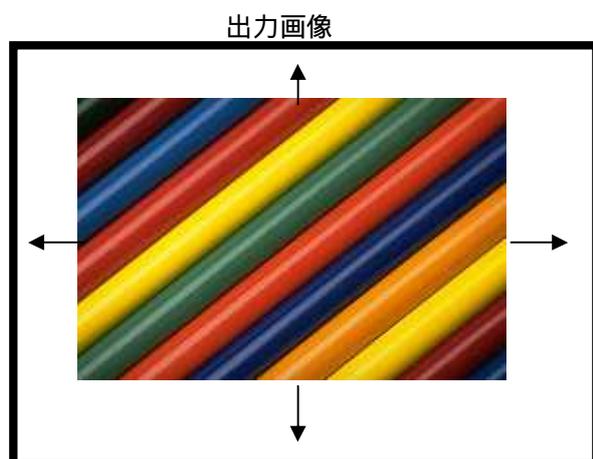
コマンド	@SOP (Set Output Position)
機能	出力画像のポジション調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
O	4Fh	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-98 ~ +98 (ドット)	2Dh39h38h ~ 2Bh39h38h	出力画像 H ポジション調整値 [1]
,	2Ch	区切り
-99 ~ +99 (ライン)	2Dh39h39h ~ 2Bh39h39h	出力画像 V ポジション調整値 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 2 ドット単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。
- [2] 1 ライン単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。



出力画像の表示位置を H(横)方向 -98 ~ +98 ドット、V(縦)方向 -99 ~ +99 ラインまで移動することができます。

7-6-27.@GOP (Get Output Position)

コマンド	@GOP (Get Output Position)
機能	設定されている出力画像のポジション調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-98 ~ +98 (ドット)	2Dh39h38h ~ 2Bh39h38h	出力画像 H ポジション調整値
,	2Ch	区切り
-99 ~ +99 (ライン)	2Dh39h39h ~ 2Bh39h39h	出力画像 V ポジション調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-28.@SOS (Set Output Size)

コマンド	@SOS (Set Output Size)
機能	出力画像のサイズ調整値を設定します

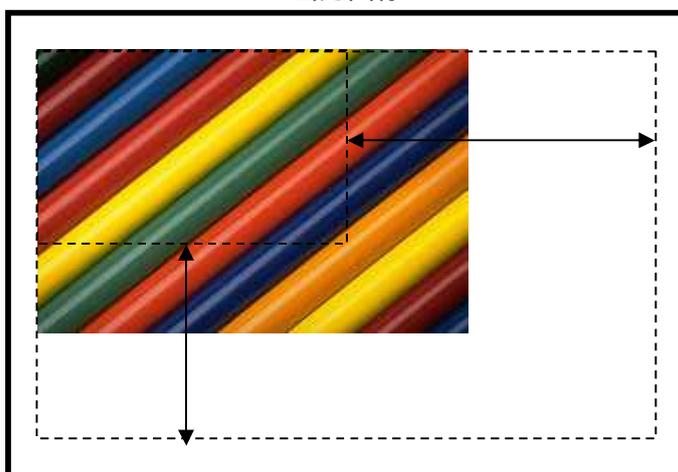
フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
0	4Fh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-98 ~ +98 (ドット)	2Dh39h38h ~ 2Bh39h38h	出力画像 H サイズ調整値 [1]
,	2Ch	区切り
-99 ~ +99 (ライン)	2Dh39h39h ~ 2Bh39h39h	出力画像 V サイズ調整値 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 2 ドット単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。
- [2] 1 ライン単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

出力画像



出力画像の表示サイズを H(横)方向-98 ~ +98 ドット、V(縦)方向-99 ~ +99 ラインまで縮小/拡大することができます。

7-6-29.@GOS (Get Output Size)

コマンド	@GOS (Get Output Size)
機能	設定されている出力画像のサイズ調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
O	4Fh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-98 ~ +98 (ドット)	2Dh39h38h ~ 2Bh39h38h	出力画像 H サイズ調整値
,	2Ch	区切り
-99 ~ +99 (ライン)	2Dh39h39h ~ 2Bh39h39h	出力画像 V サイズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

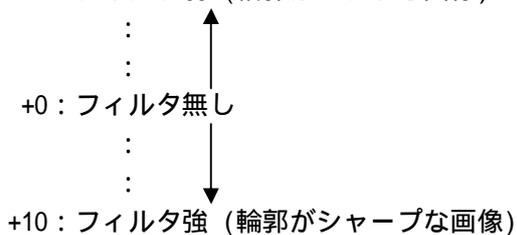
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-30.@SFL (Set Filter)

コマンド	@SFL (Set Filter)
機能	入力/出力フィルタを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
F	46h	
L	4Ch	
,	2Ch	区切り
-10 ~ +10	2Dh31h30h ~ 2Bh31h30h	入力フィルタ [1]
,	2Ch	区切り
-10 ~ +10	2Dh31h30h ~ 2Bh31h30h	出力フィルタ [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] -10 : フィルタ弱 (輪郭がソフトな画像)



+ (2Bh) は省略可能。例) +8 を指定する場合、2Bh38h 及び 38h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

出力フィルタは NTSC 入力画像にのみ有効です

7-6-31.@GFL (Get Filter)

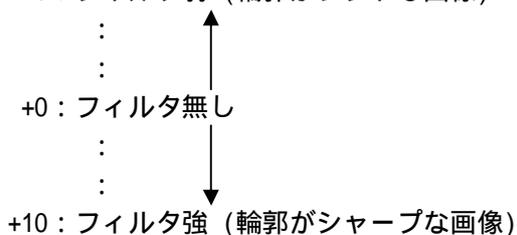
コマンド	@GFL (Get Filter)
機能	設定されている入力/出力フィルタを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
L	4Ch	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
L	4Ch	
,	2Ch	区切り
-10 ~ +10	2Dh31h30h ~ 2Bh31h30h	入力フィルタ [1]
,	2Ch	区切り
-10 ~ +10	2Dh31h30h ~ 2Bh31h30h	出力フィルタ [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] -10 : フィルタ弱 (輪郭がソフトな画像)



エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

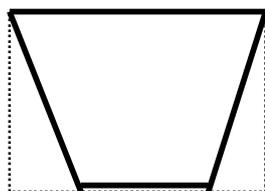
7-6-32.@SKY (Set Keystone)

コマンド	@SKY (Set Keystone)
機能	台形補正値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
K	4Bh	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
-90 ~ +90	2Dh39h30h ~ 2Bh39h30h	台形補正値 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] + (2Bh) は省略可能。例) +45 を指定する場合、2Bh34h35h 及び 34h35h どちらでも可。

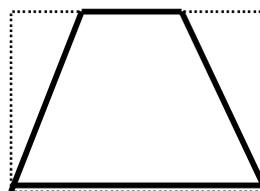
台形補正値=マイナス



台形補正値=0



台形補正値=プラス



・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-33.@GKY (Get Keystone)

コマンド	@GKY (Get Keystone)
機能	設定されている台形補正值を取得します (データ送信要求)

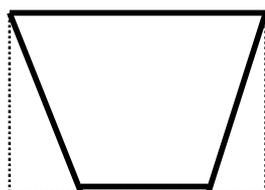
フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
K	4Bh	
Y	59h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
K	4Bh	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
-90 ~ +90	2Dh39h30h ~ 2Bh39h30h	台形補正值 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1]

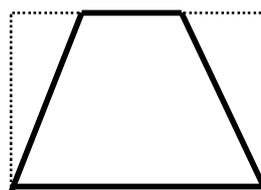
台形補正值=マイナス



台形補正值=0



台形補正值=プラス



エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-34.@STP (Set Test Pattern)

コマンド	@STP (Set Test Pattern)
機能	テストパターンを表示します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
T	54h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~8	30h~38h	テストパターン番号 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0: テストパターン OFF

- 1: 1 ドットおき縦縞
- 2: クロスハッチ
- 3: 白ラスター
- 4: 赤ラスター
- 5: 緑ラスター
- 6: 青ラスター
- 7: タイトルテロップ
- 8: ビットマップロゴ

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-35.@GTP (Get Test Pattern)

コマンド	@GTP (Get Test Pattern)
機能	設定されているテストパターン番号を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
T	54h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
T	54h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~8	30h~38h	テストパターン番号 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0: テストパターン OFF

- 1: 1 ドットおき縦縞
- 2: クロスハッチ
- 3: 白ラスター
- 4: 赤ラスター
- 5: 緑ラスター
- 6: 青ラスター
- 7: タイトルテロップ
- 8: ビットマップロゴ

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-36.@SBR (Set Bright)

コマンド	@SBR (Set Bright)
機能	ブライトを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
B	42h	
R	52h	
,	2Ch	区切り
-20 ~ +20	2Dh32h30h ~ 2Bh32h30h	ブライト値 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] + (2Bh) は省略可能。例) +14 を指定する場合、2Bh31h34h 及び 31h34h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-37.@GBR (Get Bright)

コマンド	@GBR (Get Bright)
機能	設定されているブライツを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
B	42h	
R	52h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
B	42h	
R	52h	
,	2Ch	区切り
-20 ~ +20	2Dh32h30h ~ 2Bh32h30h	ブライツ値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-38.@SCO (Set Contrast)

コマンド	@SCO (Set Contrast)
機能	コントラストを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
C	43h	
0	4Fh	
,	2Ch	区切り
-20 ~ +20	2Dh32h30h ~ 2Bh32h30h	R コントラスト値 [1]
,	2Ch	区切り
-20 ~ +20	2Dh32h30h ~ 2Bh32h30h	G コントラスト値 [1]
,	2Ch	区切り
-20 ~ +20	2Dh32h30h ~ 2Bh32h30h	B コントラスト値 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] +(2Bh) は省略可能。例) +13 を指定する場合、2Bh31h33h 及び 31h33h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-39.@GCO (Get Contrast)

コマンド	@GCO (Get Contrast)
機能	設定されているコントラストを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
O	4Fh	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
C	43h	
O	4Fh	
,	2Ch	区切り
-20 ~ +20	2Dh32h30h ~ 2Bh32h30h	R コントラスト値
,	2Ch	区切り
-20 ~ +20	2Dh32h30h ~ 2Bh32h30h	G コントラスト値
,	2Ch	区切り
-20 ~ +20	2Dh32h30h ~ 2Bh32h30h	B コントラスト値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-40.@SIT (Set Intensity)

コマンド	@SIT (Set Intensity)
機能	インテンシティを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
I	49h	
T	54h	
,	2Ch	区切り
-10 ~ +10	2Dh31h30h ~ 2Bh31h30h	インテンシティ値 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] + (2Bh) は省略可能。例) +9 を指定する場合、2Bh39h 及び 39h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

インテンシティは NTSC 入力画像にのみ有効です

7-6-41.@GIT (Get Intensity)

コマンド	@GIT (Get Intensity)
機能	設定されているインテンシティを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
T	54h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
T	54h	
,	2Ch	区切り
-10 ~ +10	2Dh31h30h ~ 2Bh31h30h	インテンシティ値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-42.@SST (Set Saturation)

コマンド	@SST (Set Saturation)
機能	サチュレーションを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
S	53h	
T	54h	
,	2Ch	区切り
-10 ~ +10	2Dh31h30h ~ 2Bh31h30h	サチュレーション値 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] + (2Bh) は省略可能。例) +9 を指定する場合、2Bh39h 及び 39h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

サチュレーションは NTSC 入力画像にのみ有効です

7-6-43.@GST (Get Saturation)

コマンド	@GST (Get Saturation)
機能	設定されているサチュレーションを取得します(データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
T	54h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
S	53h	
T	54h	
,	2Ch	区切り
-10 ~ +10	2Dh31h30h ~ 2Bh31h30h	サチュレーション値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-44.@SGM (Set Gamma)

コマンド	@SGM (Set Gamma)
機能	ガンマ補正値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
G	47h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
-4 ~ +4	2Dh34h ~ 2Bh34h	ガンマ補正値 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] -4 : ガンマ補正 暗さ強調 4 (強い)
 -3 : ガンマ補正 暗さ強調 1 :
 -2 : ガンマ補正 暗さ強調 2 :
 -1 : ガンマ補正 暗さ強調 3 (弱い)
 +0 : ガンマ補正 無し
 +1 : ガンマ補正 明るさ強調 1 (弱い)
 +2 : ガンマ補正 明るさ強調 2 :
 +3 : ガンマ補正 明るさ強調 3 :
 +4 : ガンマ補正 明るさ強調 4 (強い)

+ (2Bh) は省略可能。例) +3 を指定する場合、2Bh33h 及び 33h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-45.@GGM (Get Gamma)

コマンド	@GGM (Get Gamma)
機能	設定されているガンマ補正値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
G	47h	
M	4Dh	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
G	47h	
M	4Dh	
,	2Ch	区切り
-4 ~ +4	2Dh34h ~ 2Bh34h	ガンマ補正値 [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] -4 : ガンマ補正 暗さ強調 4 (強い)
 -3 : ガンマ補正 暗さ強調 1 :
 -2 : ガンマ補正 暗さ強調 2 :
 -1 : ガンマ補正 暗さ強調 3 (弱い)
 +0 : ガンマ補正 無し
 +1 : ガンマ補正 明るさ強調 1 (弱い)
 +2 : ガンマ補正 明るさ強調 2 :
 +3 : ガンマ補正 明るさ強調 3 :
 +4 : ガンマ補正 明るさ強調 4 (強い)

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-46.@SHU (Set HUE)

コマンド	@SHU (Set HUE)
機能	HUE を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
H	48h	
U	55h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 360	30h ~ 33h36h30h	HUE [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0度 ~ 360度

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

HUE は NTSC 入力画像にのみ有効です

7-6-47.@GHU (Get HUE)

コマンド	@GHU (Get HUE)
機能	設定されている HUE を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
H	48h	
U	55h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
H	48h	
U	55h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 360	30h ~ 33h36h30h	HUE [1]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0度 ~ 360度

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-48.@SPP (Set Picture In Picture Position)

コマンド	@SPP (Set Picture In Picture Position)
機能	ピクチャ・イン・ピクチャ画像のポジション調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
P	50h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
1~出力画像 H ポジション (ドット)	31h~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 H ポジション調整値 [1]
,	2Ch	区切り
1~出力画像 V ポジション (ライン)	31h~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 V ポジション調整値 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

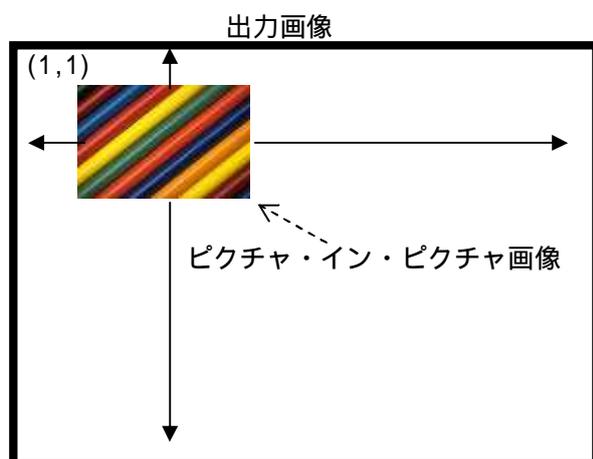
[1] 2ドット単位で設定

[2] 1ライン単位で設定

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

あらかじめ NTSC 入力ソース選択(コマンド@SNS)で NTSC 画像を表示させた後、このコマンドを使用して下さい。



ピクチャ・イン・ピクチャ画像の表示位置を H(横)方向 1ドット~出力画像 H サイズ、V(縦)方向 1ライン~出力画像 V サイズまで移動することができます。

7-6-49.@GPP (Get Picture In Picture Position)

コマンド	@GPP (Get Picture In Picture Position)
機能	設定されているピクチャ・イン・ピクチャ画像のポジション調整値を取得します(データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
1~出力画像Hポジション (ドット)	31h~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像Hポジション調整値
,	2Ch	区切り
1~出力画像Vポジション (ライン)	31h~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像Vポジション調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-50.@SPS (Set Picture In Picture Size)

コマンド	@SPS (Set Picture In Picture Size)
機能	ピクチャ・イン・ピクチャ画像のサイズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
P	50h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
32 ~ 出力画像 H サイズ (ドット)	30h ~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 H サイズ調整値 [1]
,	2Ch	区切り
32 ~ 出力画像 V サイズ (ライン)	30h ~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 V サイズ調整値 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

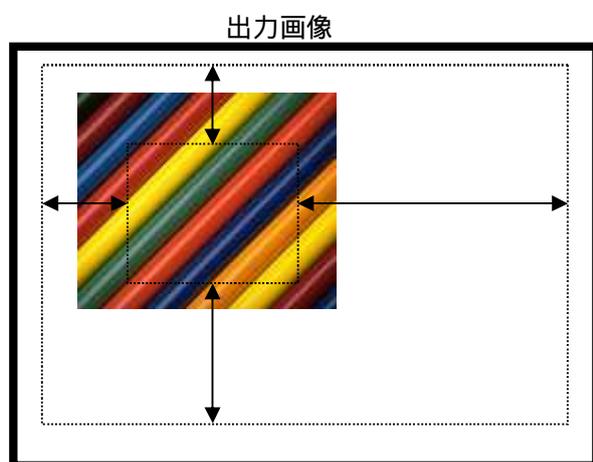
- [1] 2 ドット単位で設定
32 ドットが最小値になります

- [2] 1 ライン単位で設定
32 ラインが最小値になります

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

あらかじめ NTSC 入力ソース選択(コマンド@SNS)で NTSC 画像を表示させた後、このコマンドを使用して下さい。



ピクチャ・イン・ピクチャ画像の表示サイズを H(横)方向 32 ドット ~ H 出力画像ドット、V(縦)方向 32 ライン ~ V 出力画像ラインまで縮小/拡大することができます。

7-6-51.@GPS (Get Picture In Picture Size)

コマンド	@GPS (Get Picture In Picture Size)
機能	設定されているピクチャ・イン・ピクチャ画像のサイズ調整値を取得します(データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
P	50h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
32 ~ 出力画像 H サイズ (ドット)	30h ~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 H サイズ調整値
,	2Ch	区切り
32 ~ 出力画像 V サイズ (ライン)	30h ~	ピクチャ・イン・ピクチャ画像 V サイズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-52.@SMD (Set Multi Display)

コマンド	@SMD (Set Multi Display)
機能	マルチ画面表示の画面タイプ、画面位置を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
M	4Dh	
D	44h	
,	2Ch	区切り
0~8	30h~38h	画面タイプ [1]
,	2Ch	区切り
0~9	30h~39h	画面位置 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0 : OFF
 1 : HV 2x1
 2 : HV 3x1
 3 : HV 1x2
 4 : HV 1x3
 5 : HV 2x2
 6 : HV 3x2
 7 : HV 2x3
 8 : HV 3x3

[2] HV 2x2 の場合

- 0 : OFF
 1 : H1-V1
 2 : H2-V1
 3 : H1-V2
 4 : H2-V2

H1-V1	H2-V1
H1-V2	H2-V2

HV 3x3 の場合

- 0 : OFF
 1 : H1-V1
 2 : H2-V1
 3 : H3-V1
 4 : H1-V2
 5 : H2-V2
 6 : H3-V2
 7 : H1-V3
 8 : H2-V3
 9 : H3-V3

H1-V1	H2-V1	H3-V1
H1-V2	H2-V2	H3-V2
H1-V3	H2-V3	H3-V3

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
 エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-53.@GMD (Get Multi Display)

コマンド	@GMD (Get Multi Display)
機能	設定されているマルチ画面表示の画面タイプ、画面位置を取得します（データ送信要求）

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
M	4Dh	
D	44h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
M	4Dh	
D	44h	
,	2Ch	区切り
0~8	30h~38h	画面タイプ [1]
,	2Ch	区切り
0~9	30h~39h	画面位置 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 0 : OFF
 1 : HV 2x1
 2 : HV 3x1
 3 : HV 1x2
 4 : HV 1x3
 5 : HV 2x2
 6 : HV 3x2
 7 : HV 2x3
 8 : HV 3x3

[2] HV 2x2 の場合

0 : OFF		
1 : H1-V1	H1-V1	H2-V1
2 : H2-V1		
3 : H1-V2	H1-V2	H2-V2
4 : H2-V2		

HV 3x3 の場合

0 : OFF			
1 : H1-V1	H1-V1	H2-V1	H3-V1
2 : H2-V1			
3 : H3-V1			
4 : H1-V2	H1-V2	H2-V2	H3-V2
5 : H2-V2			
6 : H3-V2			
7 : H1-V3	H1-V3	H2-V3	H3-V3
8 : H2-V3			
9 : H3-V3			

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-54.@SDS (Set Multi Display Size)

コマンド	@SDS (Set Multi Display Size)
機能	マルチ画面表示の画像サイズ調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
D	44h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-500 ~ +500 (ドット)	2Dh35h30h30h ~ 2Bh35h30h30h	H サイズ調整値 [1]
,	2Ch	区切り
-500 ~ +500 (ライン)	2Dh35h30h30h ~ 2Bh35h30h30h	V サイズ調整値 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 2 ドット単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。 例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

[2] 1 ライン単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。 例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

あらかじめマルチ画面タイプ設定、画面位置設定(コマンド@SMD)でマルチ画像を表示させた後、このコマンドを使用して下さい。

7-6-55.@GDS (Get Multi Display Size)

コマンド	@GDS (Get Multi Display Size)
機能	設定されているマルチ画面表示の画像サイズ調整値を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
D	44h	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
D	44h	
S	53h	
,	2Ch	区切り
-500 ~ +500 (ドット)	2Dh35h30h30h ~ 2Bh35h30h30h	H サイズ調整値
,	2Ch	区切り
-500 ~ +500 (ライン)	2Dh35h30h30h ~ 2Bh35h30h30h	V サイズ調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-56.@SDP (Set Multi Display Position)

コマンド	@SDP (Set Multi Display Position)
機能	マルチ画面表示の画像ポジション調整値を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
D	44h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-500 ~ +500 (ドット)	2Dh35h30h30h ~ 2Bh35h30h30h	H ポジション調整値 [1]
,	2Ch	区切り
-500 ~ +500 (ライン)	2Dh35h30h30h ~ 2Bh35h30h30h	V ポジション調整値 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 2 ドット単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。例) +24 を指定する場合、2Bh32h34h 及び 32h34h どちらでも可。

[2] 1 ライン単位で設定
+ (2Bh) は省略可能。例) +53 を指定する場合、2Bh35h33h 及び 35h33h どちらでも可。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

あらかじめマルチ画面タイプ設定、画面位置設定(コマンド@SMD)でマルチ画像を表示させた後、このコマンドを使用して下さい。

7-6-57.@GDP (Set Multi Display Position)

コマンド	@GDP (Set Multi Display Position)
機能	設定されているマルチ画面表示の画像ポジション調整値を取得します(データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
D	44h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
D	44h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
-500 ~ +500 (ドット)	2Dh35h30h30h ~ 2Bh35h30h30h	H ポジション調整値
,	2Ch	区切り
-500 ~ +500 (ライン)	2Dh35h30h30h ~ 2Bh35h30h30h	V ポジション調整値
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-58.@GIV (Get ID & Version)

コマンド	@GIV (Get ID & Version)
機能	接続されている製品IDとバージョンを取得します(データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
V	56h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
I	49h	
V	56h	
,	2Ch	区切り
V	56h	製品ID
S	53h	
C	43h	
-	2Dh	
0	30h	
1	31h	
,	2Ch	区切り
1	31h	バージョン
.	2Eh	
0	30h	
0	30h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

返り値のバージョンは変わることがあります。

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-59.@SEC (Set External Command)

コマンド	@SEC (Set External Command)
機能	外部コントロールメモリを設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
E	45h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1~9	31h~39h	登録番号
,	2Ch	区切り
1~2	31h~32h	使用するRS-232Cポート [1]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ボーレート [2]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	データ長 [3]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	パリティチェック [4]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	ストップビット [5]
,	2Ch	区切り
00~30	30h30h~33h30h	外部通信コマンドのデータ数 [6]
,	2Ch	区切り
	00h~FFh : :	外部通信コマンド [7]
,	2Ch	
	20h~80h : :	コメント [8]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 1 : RS-232C CH1
2 : RS-232C CH2

[2] 0 : 19200bps
1 : 9600bps
2 : 38400bps

[3] 0 : 7ビット
1 : 8ビット

[4] 0 : なし
1 : 奇数パリティ
2 : 偶数パリティ

- [5] 0:1ビット
1:2ビット

- [6] 外部通信コマンドのデータ数
2バイト固定

- [7] 外部通信コマンドを設定
30バイト固定、外部通信コマンドが30バイト未満の場合はデータ 00h を30バイト目まで埋めて下さい

- [8] コメント(外部通信コマンドの名称等)を設定
10バイト固定、コメントが10バイト未満の場合はデータ 20h で10バイト目まで埋めて下さい
アスキーコードの20h~80hを使用することができます

合計バイト数 63バイト固定で送信して下さい。

・**返り値**

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-60.@GEC (Get External Command)

コマンド	@GEC (Get External Command)
機能	設定されている外部コントロールメモリを取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
E	45h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1~9	31h~39h	登録番号
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
E	45h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1~2	31h~32h	使用する RS-232C ポート [1]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	ボーレート [2]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	データ長 [3]
,	2Ch	区切り
0~2	30h~32h	パリティチェック [4]
,	2Ch	区切り
0~1	30h~31h	ストップビット [5]
,	2Ch	区切り
00~30	30h30h~33h30h	外部通信コマンドのデータ数 [6]
,	2Ch	区切り
	00h~FFh : :	外部通信コマンド [7]
,	2Ch	
	20h~80h : :	コメント [8]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- [1] 1 : RS-232C CH1
2 : RS-232C CH2

- [2] 0 : 19200bps
1 : 9600bps
2 : 38400bps

- [3] 0 : 7 ビット
1 : 8 ビット

- [4] 0 : なし
1 : 奇数パリティ
2 : 偶数パリティ

- [5] 0 : 1 ビット
1 : 2 ビット

- [6] 外部通信コマンドのデータ数
2 バイト固定

- [7] 外部通信コマンド
30 バイト固定

- [8] コメント (外部通信コマンドの名称等)
10 バイト固定

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-61.@EXC (Execute External Command)

コマンド	@EXC (Execute External Command)
機能	外部コントロールメモリを実行します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
E	45h	
X	58h	
C	43h	
,	2Ch	区切り
1~9	31h~39h	外部通信コマンド登録番号
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

外部コントロールメモリを接続されている機器に送信します、接続されている機器からの応答は受信しません。

また、外部コントロールメモリの実行で使用する通信ポート (RS-232C CH1 又は Ch2) は送信専用となり、データ受信はできなくなります。

- ・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-62.@SFP (Set Font Parameter)

コマンド	@SFP (Set Font Parameter)
機能	タイトルテロップ表示位置/サイズ/色を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
F	46h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0~10	30h~31h30h	表示 OFF/表示位置/文字サイズ [1]
,	2Ch	区切り
0~7	30h~37h	文字色 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0: タイトルテロップ表示 OFF

- 1: 表示位置=左上、文字サイズ=小
- 2: 表示位置=右上、文字サイズ=小
- 3: 表示位置=中央、文字サイズ=小
- 4: 表示位置=左下、文字サイズ=小
- 5: 表示位置=右下、文字サイズ=小
- 6: 表示位置=左上、文字サイズ=大
- 7: 表示位置=右上、文字サイズ=大
- 8: 表示位置=中央、文字サイズ=大
- 9: 表示位置=左下、文字サイズ=大
- 10: 表示位置=右下、文字サイズ=大

[2] 0: 白

- 1: 黒
- 2: 赤
- 3: 緑
- 4: 青
- 5: 黄
- 6: 水色
- 7: 紫

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

タイトルテロップの表示方法は 19 ページ、70 ページをご参照下さい。

7-6-63.@GFP (Get Font Parameter)

コマンド	@GFP (Get Font Parameter)
機能	設定されているタイトルテロップ表示位置/サイズ/色を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
P	50h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	44h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 10	30h ~ 31h30h	表示 OFF/表示位置/文字サイズ [1]
,	2Ch	区切り
0 ~ 7	30h ~ 37h	文字色 [2]
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

[1] 0: タイトルテロップ表示 OFF

- 1: 表示位置=左上、文字サイズ=小
- 2: 表示位置=右上、文字サイズ=小
- 3: 表示位置=中央、文字サイズ=小
- 4: 表示位置=左下、文字サイズ=小
- 5: 表示位置=右下、文字サイズ=小
- 6: 表示位置=左上、文字サイズ=大
- 7: 表示位置=右上、文字サイズ=大
- 8: 表示位置=中央、文字サイズ=大
- 9: 表示位置=左下、文字サイズ=大
- 10: 表示位置=右下、文字サイズ=大

[2] 0: 白

- 1: 黒
- 2: 赤
- 3: 緑
- 4: 青
- 5: 黄
- 6: 水色
- 7: 紫

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-64.@SFD (Set Font Data)

コマンド	@SFD (Set Font Data)
機能	タイトルテロップ文字を設定します

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
S	53h	
F	46h	
D	44h	
,	2Ch	区切り
	20h ~ 7Fh	タイトルテロップ文字 [1]
	:	
	:	デリミタ
CR	0Dh	
LF	0Ah	

[1] アスキーコード 20h ~ 7Fh

15 バイト固定、15 バイト未満の場合はデータ 20h で 15 バイト目まで埋めて下さい。

・ 返り値

コマンド、パラメータにエラーがない場合は、送信したコードがそのまま返り値として返されます。
エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-65.@GFD (Get Font Data)

コマンド	@GFD (Get Font Data)
機能	設定されているタイトルテロップ文字を取得します (データ送信要求)

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
D	44h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
G	47h	
F	46h	
D	44h	
,	2Ch	区切り
	20h ~ 7Fh	タイトルテロップ文字 [1]
	:	
	:	デリミタ
CR	0Dh	
LF	0Ah	

- [1] アスキーコード 20h ~ 7Fh
15 バイト固定

エラーがある場合は、エラーステータスが返されます。

7-6-66.@DIY (Daisy Chain)

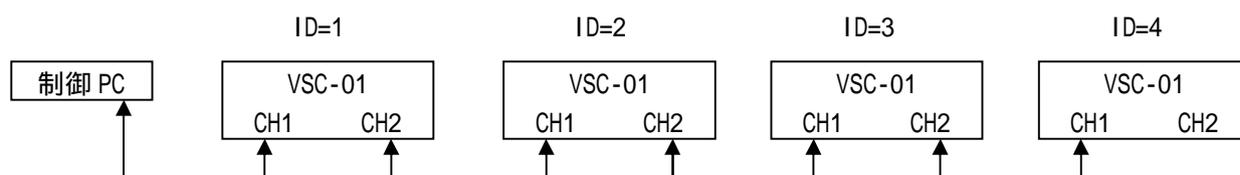
コマンド	@DIY (Daisy Chain)
機能	デジーチェーン接続を使用する場合に使うコマンドです

フォーマット	アスキーコード	説明
@	40h	コマンド
D	44h	
I	49h	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
0 ~ 99	30h ~ 39h39h	デジーチェーン ID [1]
,	2Ch	区切り
0 ~ 99	30h ~ 39h39h	デジーチェーン ID [1]
:	:	:
:	:	:
:	:	:
:	:	:
:	:	:
@	40h	@から始まる通常コマンド
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

- ・デジーチェーン接続を行う場合、通常のコマンドの前に@DIY, デジーチェーン ID, デジーチェーン ID・・・を付けて送信して下さい。
- ・デジーチェーン ID で指定された VSC-01 だけがコマンドを受け付けて動作します。
- ・デジーチェーン ID は複数指定できますが、@G で始まる通常コマンド(データ送信要求コマンド)の場合はデジーチェーン ID の指定は1個しかできません。
- ・デジーチェーン ID に0を指定すると、接続された全ての VSC-01 がコマンドを受け付けて動作します。(@G で始まる通常コマンドの場合はデジーチェーン ID に0を指定することはできません)
- ・各 VSC-01 にデジーチェーン ID を設定する方法は27ページを参照して下さい。

デジーチェーン接続を行う場合、@G で始まる通常コマンド(データ送信要求コマンド)の場合は返り値がありますが、その他の通常コマンドの場合は返り値はありません。

例) デジーチェーン接続された VSC-01 の中から、ID=2 の VSC-01 に@SNS,1 コマンドを送信する

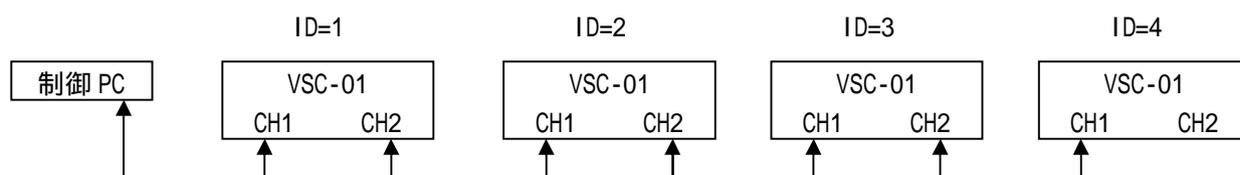


制御 PC から以下のコマンドを送信すると ID=2 の VSC-01 が動作します

@	40h	デジーチェーンコマンド
D	44h	
I	49h	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
2	32h	デジーチェーン ID
@	40h	コマンド
S	53h	
N	4Eh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
1	31h	NTSC 入力ソース=VBS
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値なし

例) デジーチェーン接続された VSC-01 の中から、ID=1 と ID=4 の VSC-01 に@S0T,2 コマンドを送信する

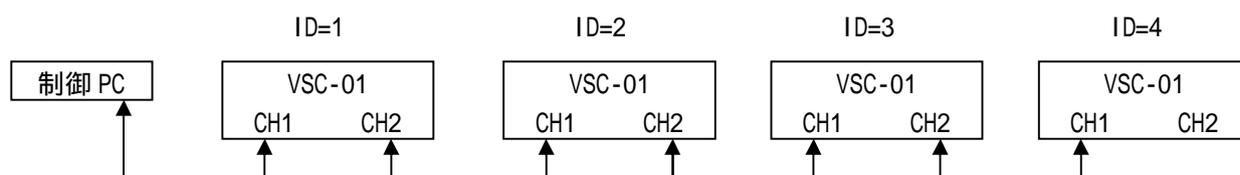


制御 PC から以下のコマンドを送信すると ID=1 と ID=4 の VSC-01 が動作します

@	40h	デジーチェーンコマンド
D	44h	
I	49h	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
1	31h	デジーチェーン ID
,	2Ch	区切り
4	34h	デジーチェーン ID
@	40h	コマンド
S	53h	
O	4Fh	
T	54h	
,	2Ch	区切り
2	32h	出力映像信号=XGA
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値なし

例) デジーチェーン接続された VSC-01 の中から、全ての VSC-01 に@SFP,8,5 コマンドを送信する

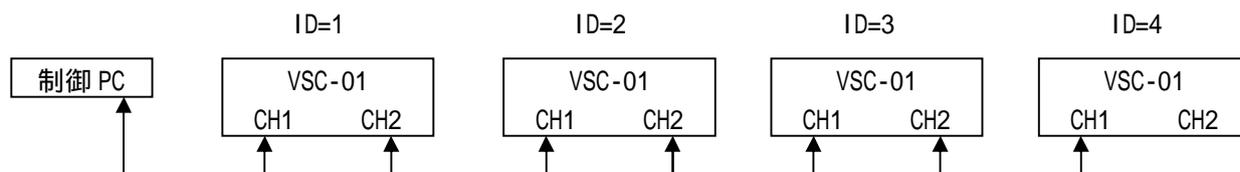


制御 PC から以下のコマンドを送信すると全ての VSC-01 が動作します

@	40h	デジーチェーンコマンド
D	44h	
I	49h	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
0	30h	デジーチェーン ID
@	40h	コマンド
S	53h	
F	46h	
P	50h	
,	2Ch	区切り
8	38h	表示位置/文字サイズ=中央、文字サイズ=大
,	2Ch	区切り
5	35h	文字色=黄
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・ 返り値なし

例) デジーチェーン接続された VSC-01 の中から、ID=3 の VSC-01 に@GNS コマンドを送信し、返り値を受信する



制御 PC から以下のコマンドを送信すると ID=3 の VSC-01 から返り値が送られてきます

@	40h	デジーチェーンコマンド
D	44h	
I	49h	
Y	59h	
,	2Ch	区切り
3	33h	デジーチェーン ID
@	40h	コマンド
G	47h	
N	4Eh	
S	53h	
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

・返り値

@	40h	デジーチェーンコマンド
D	44h	
I	49h	
Y	59h	
@	40h	コマンド
G	47h	
N	4Eh	
S	53h	
,	2Ch	区切り
0~4	30h~34h	NTSC 入力ソース
CR	0Dh	デリミタ
LF	0Ah	

8. 製品仕様

VSC-01	
入力信号	
NTSC	3 系統 VBS 信号 1.0Vp-p 75 BNC コネクタ(ループスルー出力付き) Y/C 信号 1.0Vp-p(Y)/0.286Vp-p(C) 75 S 端子 YCbCr 信号 1.0Vp-p(Y)/0.714Vp-p(Cb・Cr) 75 D 端子
アナログ RGB	1 系統 ビデオ信号 RGB 信号: 0.7Vp-p(Sync on Green 入力時:1.0Vp-p) 75 YPbPr 信号: 1.0Vp-p(Y)/0.7Vp-p(Pb・Pr) 75 同期信号 TTL レベル 高密度 Dsub15 ピンコネクタ
出力信号	
アナログ RGB	1 系統 ビデオ信号 0.7Vp-p 75 同期信号 TTL レベル 高密度 Dsub15 ピンコネクタ
デジタル RGB	1 系統 DVI Ver1.0 DVI-D 24 ピンコネクタ
アナログ RGB (ループスルー出力)	1 系統 高密度 Dsub15 ピンコネクタ
機能	
アップコンバート部	NTSC RGB(VGA ~ SXGA+)
スキャンコンバート部	RGB(VGA ~ UXGA) RGB(VGA ~ SXGA+)
ピクチャ・イン・ピクチャ	RGB 出力画面上に NTSC 子画面表示(表示位置、サイズ変更可能) NTSC 出力画面上に RGB 子画面表示(表示位置、サイズ変更可能)
その他	3 フィールド動き適応型 IP 変換 RGB 入力画像サンプリングフェーズ調整、クロック数調整 画質調整機能(ブライトネス、コントラスト、フィルター、出力画像ポジション変更・サイズ変更、台形補正、HUE、インテンシティ) 3次元 Y/C 分離 プリセットメモリ(4メモリ) ラストメモリ(メモリする/しない選択可) RS-232C 外部コントロールメモリ(9メモリ) 外部同期入力
外部制御	2 系統 RS-232C Dsub9 ピンコネクタ (オス)
電源電圧	AC90 ~ 250V 50/60Hz ±3Hz
消費電力	28W(Max)
外形寸法	210(W)x44(H)x300(D)mm (EIA ハーフラック 1U、突起物含まず)
質量	約 2.3kg
使用温度範囲	0 ~ +40
使用湿度範囲	20 ~ 90%(但し結露なきこと)
保存温度範囲	-20 ~ +80
保存湿度範囲	20 ~ 90%(但し結露なきこと)

9.故障かな？と思う前に

本機がうまく動作しない時などは、以下の点をご確認の上(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示装置(モニタなど)は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1. 全てのチャンネルで同じ現象がでますか？
-はい- -いいえ-
2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？
-はい- -いいえ-

株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部

TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765

月曜～金曜 AM9:00～PM5:00



株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部

TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765

月曜～金曜 AM9:00～PM5:00

発行日 2007年12月26日 Ver.1.7.1_M

* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。

* 本書の無断転載を禁じます。